ハンドボール「第34号目次」

昭和41年7月号

〔表紙写真〕関東学生春季リーグ戦から

私のことば

大会誘致で実力向上

山梨県協会長　米山　泉

昭和24年、私は未知のスポーツであるハンドボールの山梨県協会長を引き受けました。早いもので、もう16年が過ぎてしまいました。当時、本県に普及して間もないこの競技は、競技人口も高校10チーム、一般2チームと非常に少なく、指導者もわずかで揺籃期ともいえる時期でした。そこで私はまず普及を第一と考え、その方法として各種大会の誘致を考えました。

昭和25年、当時国内における最高の権威ある大会である全日本総合選手権大会を富士吉田市で開催しました。この大会はハンドボール競技のみならず本県にとって戦後初めての全国的大会であり、県民の注目のうちに開催しましたが、幸い関係各位のご協力とご援助で無事終了し、展開されたすばらしい妙技、そのスピード感は県民にマッチし、ハンドボール熱も急激に上昇した。これで普及に対する自信を得、日本協会が世界最強といわれるドイツチームを招待するや、さっそく甲府大会を開催したのです。本場西ドイツのチームの見事なプレーや、りっぱなマナーを紹介し、停滞気味の本県スポーツ界に新風を吹き込むと同時に、ハンドボール競技に対する認識を高めさせた。

また38年全国高校選手権大会の開催と次々に各層メーンエベントを誘致し、県民にすぐれたプレーを通して真のハンドボール競技を知ってもらうよう努めたのです。そのかいあってか、現在は中学校24、高校25一般5チームの加盟を得、新しい協会ではありますが、若さと実績とで県体育界にも誇れる存在になるまで成長しました。しかし、今にして思えば冷汗のでるような、また苦しい年月であったのですが、むりをして各種大会を誘致したのはよかったと思っています。もちろんこれには関係各位の協力があったからできたのです。とくに他府県の指導者や、優秀プレーヤーの実戦的活動が大いに刺激となり、指導者の不足や施設の不備を補い、現在の隆盛となったと思われます。私の意図がまさに的中したことを喜ぶと同時に感謝するしだいです。

一応普及のメドがついたものの、本県のレベルは決して高いものではありません。とくに最近の国際交流の活発化に伴い、進歩するこの競技に立ち遅れることなくついていくことは非常にたいへんなことと思います。またこの反面、それでこそやりがいがとあることと信じています。幸い若い指導者もふえ、この人たちが結束し組織も充実されてきましたので、今後は強化に力を注ぎたいと思います。

ことしのタイトルはもらった！

いよいよ新年度のシーズン開幕。全国各チームとも、ことしこそハンドボール日本一を目ざして体力づくりに、チームづくりに、練習、練習の毎日を送っている。本号は全国の実業団、高校、大学チームのキャップテンから、ことしの「タイトル獲得」という力強い声を特集した。

ハンドボール日本一への抱負を語る

身長差をスピードでカバー

大崎電気　北村尚英

このことばは私に限らずハンドボールをやっている者のすべてが、シーズンの初めに思い浮べることであろう。私は毎年、シーズンになるとこのことを考え、そしてそれを目標として私なりの努力をしてきましたが、それが報われたときはまた新たに欲を出し、来年も……と思う。報われなかったときは、来年こそはと思い続けてきました。ことしもまたそのシーズンにはいり、いつものことながら「ことしこそは絶対に総合選手権はもらうぞ」と意気込むのである。その意気込みが年々弱くなりつつはあるが、やはりハンドボールを続ける限り持ち続けるであろうし、また持ち続けなければいけないものであろう。

ことしはどうしたら勝てるだろうかとまず考え、その前に去年はどうしたろうかとも考える。ただがむしゃらに練習するだけでは勝てなくなった今では、自分のプレー、チームプレーとよかったことはそのまま伸ばし、悪かったところを直す。またこれからやりたいプレーをマスターしなければ勝つことはできない。そこでことしは前からの目標でもあったが、われわれ身長の低い者がいかにして、他の長身の者との差をカバーするか。ここに重点を置いて、自分自身のプレーおよびチームプレーを考えていこうと思っています。

現在それにはスピードのあるプレーをすることがいちばんである。スピードはだれでもが目標にしていることなので、その他にもっと長身の者ではできないことをやろうと思う。それが何であるかはいまのところまだわからない。これからの練習、試合を通じて考えマスターしたいと思う。身長差を補いうるプレーは私自身のためばかりでなく、チームのためにも必要なことである。そこで個人としてのプレーとチームとしてのプレーの二つが表裏一体となったときに、われわれはゲームについて勝者となりうると思う。

他に負けぬ練習と伝統

大洋デパート　新保いく子

部創立いらい苦しかった基礎を築き、波乱の時代を五回の優勝で飾られた先輩は、西村さん、迫さんを残して去って行った。そこで私たちは先輩の完成されたスマートなチームカラーとは異なり、私たちなりの〝ラフなチーム〟をトレードマークに突進していこうと決意しています。

考えてみますと、ずいぶん前のことになりますが、入部当時、初の大会である全日本総合選手権。柏崎市で胸をドキドキさせている私たち。それから時は流れ、若手の進出に多くの機会があったにも

かかわらず、苦い経験を残したのが大分市の全日本総合選手権でした。第1戦から決勝戦に至るまで混戦状態でした。というのは、どのゲームにも点差ができると、メンバーをチェンジしてもらって貴重な体験を試みたのです。だけど期待にそえず、点差も束の間。一瞬のうちに逆転され、何度もあぶない橋を渡り、やっとカップを手にすることができました。

そしていよいよ自分たちでがんばらねばならないときになりました。先輩のあの努力と苦い経験を糧（かて）として、どこのチームにも負けぬ練習といままでの長い伝統を誇りに、若さにあふれるたくましいプレーで全日本総合選手権のタイトル獲得を目ざしています。

チームワークで選手権を

大崎電気　鈴木功子

昨年は一つも手にすることができなかった全日本のタイトル。それだけに数多くを反省し、それを基に全日本総合選手権大会のタイトル獲得にかける私たちの意欲は非常に大きい。

「お前ら、そんなことで勝てるか」

「やる気があるのか。やる気がなければ練習に出てくるな」

「みんな、お前ら以上にやっているんだ」

次から次へ監督の口からとび出す。自分にはこれだけしかできないのか。いままでの練習になにをやってきたのだろうかと情けなくなるときがある。そんなとき、ふと私の脳裏をかすめるのは試合に敗れたときのなんともいえない寂しさ。それにもましてみじめな気持ち。〝スポーツは勝つためにやるのだ。こんなことでは去年の二の舞いを踏む。よし。やれるだけやってやる。さいわいよき先輩に恵まれている。少しでも早く先輩を追い越すよう努力し、精いっぱいやろう。たいせつなことは、チームワーク。ひとりの苦しみが全員の喜びであること。〞ことしこそ必ず私たちの手で全日本のタイトルを〞これをチームの合いことばにきょうもグラウンドにとびだしていく。

自分に打ち勝つこと

桜台高　飼沼守男

ぼくたちの桜台高は過去19年の間に、インターハイの優勝9回、準優勝2回、国体でも優勝9回という輝かしい伝統を持っています。ぼくたちの年から商業科がなくなり、大学進学を目ざす普通科ばかりになった。このためことしのハンドボール部は弱くなったなーなどとかげ口をたたかれる。稲石監督は「去年の先輩はいままでの中でも、史上最高のチームであるといっても過言ではない」といっているので、ぼくたちはいままで以上に努力しなければならない。

だが、こんなことを書いていると弱気ではないかと思われるかもしれないが、決してそんなことはありません。ぼくたちクラブ員はインターハイのタイトルはもらうと心に決めているのです。『激しい練習は精神力を養うために行なう』この精神がぼくたちの苦しい練習の中で、はっきり一人一人の胸に刻み込まれている。そしてことしも全国制覇の自信を持っています。

つまり、根性、忍耐力、ファイト……。いいかえれば自分自身に打ち勝つことが、自然にインターハイのタイトルが手にはいることではないか。もちろんチームワーク、チームにおける個人個人の責任、個人プレーなどもたいへん重要である。しかし桜台ハンドボール部は、いつも自分に打ち勝とうと心に誓って練習を積み重ねているのです。

新監督と練習に次ぐ練習

静岡城北高　斎藤滝子

西の空に沈む夕日がおそくまで私たちのグラウンドに光を投げかけている。私たちはその中で毎日きびしい練習を続けている。インターハイまであとわずかです。

16年間、城北高のハンドボールに力を注ぎ、優勝できるチームに育ててくださった望月先生が、ことし4月の教員異動で転任された。私たちクラブ員は、どうしてよいか困り、いちじはハンドボールをやめようとさえ思いました。でもいままで二年間、先生、先輩に教えていただいたたくさんのプレーと、団体生活においての教訓を後輩に伝え、いつまでもこの城北ハンドボール部を続けてほしいという願いと、去年のインターハイ優勝の感激を再び呼び起こしたなにかが部員全部を一致団結させ、練習を続けさせました。ことしは三年生だけでメンバーが組めるので、コンビもとりやすく、心強く思っています。

よく望月先生が「人と同じことをしていたら、人と同じことしかできない。優勝するためには、他校より二倍、三倍の練習をしなければならない。練習だけが自分たちに自信をつける」とおっしゃいました。私たちはそのことばをいつも思い出し、毎日の練習の糧(かて)として、新しい監督とともに練習に次ぐ練習。監督、先輩のために、私たち自身のために、この手で！この足で！このからだで！栄誉あるインターハイ優勝を勝ち取る。そして、悔いのないプレーをしたいと思っています。

○こ●と○し●も○が●ん○ば●る○

息を抜くな

明星高（東京）主将　木全　薫

いよいよことしもインターハイ関東予選の東京都予選が始まり、我が明星高校も練習にいっそう熱が加わっているきょこのごろです。私たち部員一同は昨年の苦しかった経験、あるいはくやしかった体験を生かし「ことしこそは」と全員ががっちり手をつなぎ合っています。そして毎日の練習をたいせつに、かつ充実したものにしようとしています。

私の最大の義務は「チームをどのようにまとめ、どんな方向に引っ張っていくべきか」ということです。団体競技に欠くべからざるチームワークの乱れが招いた昨年の失敗、せり合ったときの精神面の弱さによるミスプレーなど――これらのむずかしい問題をかかえて練習に余念のない毎日を送っています。輝かしい希望を手中に収めるには人並みの努力ではむりだと思います。ヘタヘタとくずれそうになるとき、試合に負けたあのみじめだったときを思い起こし、練習に気合いがはいらないときは「試合と同じだぞ！　息を抜くな」と心の声が叱る。

私たち若い高校生のファイトでがっちりとしたチームの和をつくり、そして保ち、いっそう精進することによって遠くにある大きな目標、たった一つしかないその目標に向かってがんばっていきます。

伝統を守る

清水商高　主将　三ツ井一広

ことしもインターハイが近づくと、ぼくたちの心も一段とひきしまってきました。これからの毎日の練習がインターハイに通じていると思うと、いっそう練習に熱がはいります。ぼくたちは「インターハイに出場したい。練習は苦しくても、それがインターハイ出場となって戻ってくるのなら…」という気持ちを持ち続けて春の合宿をしました。

合宿には芝浦工大から先輩の渡辺正さんと大石尚さんをコーチとして迎え、一週間猛訓練をやりました。その成果が、静岡県中部高校の春季リーグ戦に優勝として現われました。また3月から4月初めにかけて、本校グラウンドで行なった立大ハンドボール部の合宿練習に参加させていただき、たいへん勉強になり、技術的にも数多くの学ぶ点がありました。

ことしも新入生14人を加えて合計29人となり、一段と選手層が厚くなり、ぼくたちもうれしく思っています。これからぼくたちの歩むべき道は、一層きびしくけわしいものと思います。ぼくたちは一生懸命練習し、ことしも先輩が残した伝統と名誉を守るようがんばる。

チームワークに専念

中京商高　主将　足立　守重

私たちのチームは、昨年全国大会愛知県予選で敗れて十年連続出場をのがすなど、あまりいい成績をあげることができなかった。ことしこそは、なんとしても全国大会に出場し、昨年以上の成績をあげることが使命である。毎日3時間余りの練習にも負けず、冬季にはランニングを主体とし、フットワーク、シュート、パス、マンツーマンなどをやっている。常に体力に注意し、全員一体となっていつでも最高のコンディションで試合ができることに重点をおいている。

昨年末の冬季合宿で1人の不参加者もなく、コーチを中心にしてチームワークづくりに専念してきました。7人が一体となったチームワークがまずたいせつであり、個々のプレーはその次だと思う。したがって基礎技術を中心にしてチームワークづくりに専念してきました。私たちチームはことしこそ、いかなることがあろうとも長年学んだ技術を十二分に生かし、最後の最後までベストを尽くす決意です。

先輩の栄誉を汚すな

名城大付属　主将　千葉　和雄

県大会、全国大会予選が目前に迫ってきた。昨年は先輩の活躍でインターハイ2位の好成績を収

め、一躍名声をあげてわれわれに引き継がれました。ことしは十数人の新部員を迎え、総勢40人余りとなりました。狭いグラウンドがさらに狭くなった感じです。全員が先輩の栄誉を汚さぬよう練習しています。

われわれとしていちばん困るのは、雨が降ると二、三日グラウンドが使えないことです。先輩は同じ条件でやってきたことを思い、この間はミーティングや屋内で基礎練習。少しでも時間をむだにしません。グラウンドが使えるときは、短時間で練習効果をあげるようくふうしています。とくにディフェンスの強化に重点を置き、コーチの指導によって名実ともにすぐれたハンドボールの技術と、たくましい精神力を持つプレーヤーになることを目ざしています。もちろん全国優勝も目ざしています。

全力を投入

三国ケ丘高 主将 鳥川　美雄

いよいよ全国大会の予選も近づいた。昨年は大阪府の代表として全国大会に出場したが、旧チームの主力が全員卒業し、昨年秋に結成した新チームではかなり戦力の低下がみられた。またキーパーの転校などの不運が続き、新チームの団結に手間どり、苦しいことです。しかし「ことしもインターハイへ…」を目標に、春休みには新居浜市で合宿し、基本技術、チームワーク、フォーメーションなどの練習に励み、大阪府民大会に備えました。しかし、結果は悪かった。地区予選で宿敵佐野工業に敗れ、中央大会の出場もできなかった。インターハイの大阪府予選まであと1カ月。気力の充実をはかり、全力を投入して予選に勝ち抜く覚悟。3年生5人にとっては高校生活最後の思い出となるように、また後輩への贈りものとなるようにインターハイ予選でがんばる。

どうせやるなら

水海道二高 主将 吉見美枝子

現在砂長先生そして新任の鈴木先生をはじめ私たち部員17人はファイト満々です。先生の声が一段と高くなり、私たちのシャツは汗でびっしょり。きょうの練習も終わりに近づく。そして、またあすも同じ練習が、一歩前進した練習があります。

部員となって1カ月余りの一年生も、先輩たちに負けずとがんばっている。いま、私たちは合宿を週に3日ずつやっていますが、決して楽なものではありません。

朝早くから夜おそくまで、1日をハンドで過ごすようなものです。「早く家へ…」「休みたい」—そう思うこともあります。夕食のとき、大きなテーブルの前に腰をおろす。私たちのいちばん楽しい時間、そして安らぎの時間です。話がはずむ。遊びのこと、勉強のこと、友だちのこと、先生方のうわさ話など。どれをとりあげても私たちにとってだいじな、そして興味のあるものなのです。そんななかで、優勝ということが話題になります。

それはスポーツをやるんなら、だれでもが望むことではないだろうか。「どうせやるなら優勝を…」—部員の間でよく耳にすることばです。そしてまた、私たちにとって最大の夢であり、目標なのです。とはいうものの、実現となると、どうしてどうして容易なことではありません。ある面からみれば、全くの、あまりにも現実離れした夢にすぎないかもしれません。しかし、私たちは一歩でもそれに近づくため、実現させるため、昨年以上にがんばるつもりです。

夢がいっぱい

徳山高 主将 高杉あつ子

私たちのクラブは海と山とに囲まれ、そして新しい躍進を続ける瀬戸内の町、徳山市（山口県）にあります。冬の寒さも、夏の暑さもそれほど知らず、毎日の練習にはげんでいます。私たちのクラブにおける最終目標は、理想のクラブの建設です。試合の結果のみならず、あらゆる面で人間の成長の手助けとしてのクラブづくりに努めています。

現在のクラブ員は14人、1800人もの生徒の中からどうしてこうも少数なのかと、しばしば嘆くことがあります。進学とクラブ活動との板ばさみになりながら喜び、悲しみ、悩み、その上での理想のクラブへの前進は、ずっとすばらしいものと思われます。国体に優勝してから4年目。優勝までの道のりは考えも及ばない苦しさであったと想像しています。優勝と同時に次のたたかいに向かって新しい道を歩き始め、今はその歩みの途中なのです。

ことしこそ、ことしこそと思いながら期待にこたえられない。そのつど反省し、現在に至りました。私は重い責任を感じながらも他の13人と力を合わせ、ことしも先輩のつくりあげたこの伝統の上に、さらにりっぱなクラブそして恥かしくない成績を残すため今の歩みを続けます。全国大会、国体へと私たちの夢は、いつも胸いっぱいです。そしてそれがとどまることを知らないかのように広がっています。

●こ○と●し○も●が○ん●ば○る●

○こ・と○し・も○が・ん○ば・る○

勝負は三年生がやれ

寝屋川高 主将 戸井　晴美

最上級生—チームを引っ張っていく身となって、初めてほんとうの勝負の味？がわかったように思えます。なまいきな言いかたをしましたが、勝ったときのうれしさや負けたときのくやしさを、実感として感じるようになったということです。「試合は二年生がやり、勝負は三年生がやれ」とよく聞かされてきた言葉でしたが、いまではこれをすなおに受けとれます。

スランプや他のことで練習がうまくいかないとき「どうして勝たなくてはいけないのか」という疑問が心の中にありました。しかしこんなとき、負けたときのくやしさを思うと、やはり「勝たなくては…」という気になります。勝つことを考えない試合など意味がありません。そのための練習は、これまたほんとうに意味がありません。あたりまえのことですね。しかし「勝とう」という気持ちを持たずには練習しても上達しない。このことがわかっていながら、はっきり自覚しないでいい加減に練習しているときがなくはありません。

インターハイ県予選、さらにインターハイが近づきました。ことしもいつもこの「勝つ」ことを考えて、がんばりたいと思います。

ことしこそは！

熊本市立高 主将 米　恵美子

白いボールが矢のように動く。追う。つかむ。投げる。「ナイスシュート」。コートに響きわたる大きなかけ声。試合を前にしての練習に一段と熱がはいる。一年生、二年生とまたたく間に過ぎ去った。入学当時の不慣れな練習。かんかんと照りつける日ざしの中での苦しい毎日。これはいまでもわすれることができない。2度3度やめたい気持ちで心の中で泣いたこともあった。

昨年はインターハイが熊本市で行なわれた。このときは優勝を目ざして毎日合宿練習をやった。そして試合の日となった。一回戦、二回戦、一試合勝つごとに自身がついていくようだった。最終日の決勝を争そう最後の試合、気持ちがあせり、緊張してしまった、とうとうじゅうぶんな力が出し尽くせず敗れた。スコアは8対7。1点差だったが、敗者のみじめさを痛感した。あのみじめさを二度と味あわないよう。ことしこそは！

やればできる

菊池農高 主将 中田　妙子

〝全国制覇〟昨年はこの目標に向かって私は上級生の練習を手伝っていました。ことしの目標もまた〝全国制覇〟—私たちは先生の強がりとしか受けとれませんでした。昨年12月の全日本選抜選手権が終わり、冬休みからやっと新人チームの練習、三年生が6人も抜け、そのうえ一年生は12月まで10キロも離れた別の校舎にいます。このため練習らしい練習ができず、パス、キャッチも満足にできないチームで、全国制覇どころか、ライバル熊本市立、九州女学院に勝てるだろうかと思うのが精いっぱいでした。

ところが新校舎へ移転して、一、二年生がいっしょになった1月から、半年の遅れを2カ月で取り返すと合宿に次ぐ合宿練習。2月中旬の県下新人大会で優勝しました。それで私たちも、やればできるのだな—と自信らしいものが生まれ、全国制覇も夢ではないかもしれない。「練習は生活だ」「努力しなければ可能性はない」こんなことばが、やっとなんの抵抗もなく聞けるようになりました。

私たちのチームは、昨年のチームに比べるとまだまだ攻守とも弱い。先生から「あほう」「ばか」と叱られどおしです。先輩たちがそうであったように、私たちも、学業以外のことはいっさい犠牲にして、勝つための練習を続けていきます。

全力でぶつかる

千代田印刷機製造 主将 青木　孝次

昨シーズンは全日本の大会に出場することができましたが、トップクラスのチームと対戦して、体力、精神力、技術と、あらゆる面において差があることを痛感しました。ことしは昨年の経験を生か

●こ○と●し○も●が○ん●ば○る●

し、その差を少しでも縮めて、すべての試合で持てる力を発揮できるように努力していきたいと思います。一試合をフルに活動できる体力の養成、最後まで試合をやり抜く精神力。確実なプレーをすることとチームワークの点。これらのことをじゅうぶん身につけ、試合に望みたいと思います。

ことしは高校出の新入社員4人が入部し、チームも若返りました。選手の心意気も強く、なんとかやれそうな気がします。他のチームもじゅうぶん補強し、より向上しているようです。千代田も他のチームより一層がんばっていきたい。

「マークするチームは全チーム」――とにかくことしもハンドボールの発展のために、与えられたこのチャンスを生かし、全力でぶつかっていくつもりです。

全日本のタイトルを

宗形製作所 主将 越智 節生

わがハンドボール部も創立いらい、ことしで5年目―ことしこそはと思っています。さいわいにも吉川、南、勝田、駒井、東出らの若いプレーヤーを迎え、みんな張り切っています。昨年は国体で準優勝したのが唯一の慰めでしたが、ことしは全日本のタイトルを一つでも獲得することに全力を注ぎます。

ただ私たちはプロチームではありませんので練習、練習というわけにいきません。私たちは仕事が第一であると思っていますが、試合に出る以上は、相手チームに失礼のないよう練習に励むつもりです。私たちの宗形社長、宗形専務はじめ先輩たちはハンドボールに理解があり、部員一同は非常に感謝しています。また週5日制でありますので土曜日は全員で練習し、普通の日は仕事の終わった者から練習を始めています。

題名は「ことしもがんばる」とありました。私たちのチームは「ことしこそはがんばる」という決意でいます。また女子部もことしからハンドボールを始めましたが、選手不足でじゅうぶんとまではいきません。女子は来年から本格的にやりたいと思っています。

ハンドボールを楽しむ

住友化学菊本 主将 上田 猛

昭和32年にハンドボール部を結成してから10年になる。10年一昔とよくいうが、ふり返ってみると、初めて国体へ出場できたときの感激、全国大会で初の1勝をあげたときのうれしさなど、きのうのことのように思い出される。しかしその反面、練習時間の問題、練習と仕事のかね合い、ハンドボールの経験者が入部しないことなど悩みも多かった。

ハンドボールも最近急速に発展し、目ざましいものがある。スピードとスリルに満ちたゲームは、プレーしているものも見るものもおもしろさを増してきた。この近代ハンドボールに取り残されぬよう努力をしているが、他チームに有名な既成選手が多くはいり、またたく間に強くなっていくのを見ているとうらやましくもあり、不安を感じる。しかしうらやましがってばかりはいられない、われわれは、われわれに与えられた条件で勝ち抜く以外にない。

われわれには部結成いらいの目標が二つある。一つは10年連続国体出場であり、あとの一つは全国大会優勝である。さいわい先輩の努力で連続8年までこぎつけることができた。これを10年、またさらに伸ばし続けるのがわれわれの使命である。ぼつぼつではあるが、素質のある新人が入部しているので大いに期待している。来年の国体（埼玉）の10年連続出場を優勝で飾れるよう。ことしも大いにがんばり、ハンドボールを大いに楽しむつもりである。

愛される選手に

愛知紡績 主将 小林 トメ

ことしもスタートを切って早くも3カ月余。各チームとも新入部員を迎え、全日本のタイトルを目ざして練習に励んでおられることと思います。私たち愛知紡績も4人の新人を迎え、全日本のタイトルを目標に毎日練習に仕事にと張り切っています。ここ3年間は優勝から遠ざかっています。全日本6連勝、4大タイトル獲得というはなばなしい成績を飾った先輩たち、また関係者の人たちも一日も早く優勝するよう願い、また祈っていてくださることと思います。

この伝統を受け継いだ私たちはスタートからやり直し、つらい練習にも打ち勝って目標目ざし、タイトルを手に入れるまでがむしゃらに走りまくります。三重県には強敵田村紡績がいます。東海大会、全日本大会と何度も顔を合せますが、昨年そのつど苦敗していました。私たちはまず東海大会で優勝することが第一の目標です。練習で泣いて試合で笑えるよう、つらいときにこそ部員が一丸となり、お互いに助け合い、励まし合ってこの目標に向かってがんばります。

当社の社長訓の中に、〝人の和〟ということばがあります。私たちは常にこの言葉を頭に刻み込

○こ●と○し●も○が●ん○ば●る○

み、練習また練習という生活をしています。試合に勝つためにも、また社会人として成長していくためにもいちばん大切なことと思います。最後に私たちは、会社関係者の深い愛情、理解、協力を得て、恵まれた環境で練習し、生活していることに深く感謝致しています。他の従業員の模範となり、ハンドボール選手がだれからも愛され、親しまれるようがんばります。

ことしは〝ピリッ〟と

レナウン 監督 塩川 安賢

昨年は会社の仕事のつごうで休部していましたが、ことし4月から再び活動を開始しました。これからはハンドボール部が創立したとき以上の困難が待ち構えていることと思います。私たちにとってうれしかったことは、休部中にもかかわらず、新人3人を採用してくださった鈴木社長はじめ会社の先輩がたのご厚意です。いまでも感謝の気持ちでいっぱいです。

1年間社業に専念しましたが、たいへんよい勉強になりました。といいますのは、いままではばく大な「むだ」と、たいへんな「むり」によってチームが成り立っていました。日本の実業団ハンドボール界がそうであったと思います。仕事においては「むだ」「むり」「むら」は絶対に許されません。これを痛切に感じました。しかし、よく考えてみれば、私がハンドボールを始めてからいままで、常に「むだ」「むり」「むら」をなくすために努力してきたのだと思います。

私のような若輩が……とお叱りを受けるかと思いますが、技術的な終局は「むだ」「むり」「むら」ーすなわち〝だらり〟をなくすことだと思います。この〝だらり〟をなくすために、私たちはハンドボールを通じて努力してきました。それは試合ばかりでなく、技術的な面、運営の面でも同じことがいえると思います。先輩諸兄、私たちーーそしてあとに続く人たち。みんながこの〝だらり〟とのたたかいであると思います。「だらりをなくしてピリッと締まろう」ーこれがことしのスローガンです。

考えるハンドボール

三菱鉛筆 主将 三井田梅枝

昨年の目標は、国体、全日本選手権に出場することでしたが、残念ながら脚力の不足と試合の駆け引きの未熟などで思うようにはいきませんでした。ですからことしは、その脚力に重点を置いています。新入生を交え、現在は日常生活を通してチームワークの和をはかり、既成チームに負けないようお互いに励まし合っています。そして各自のポジションで、独得のプレーを身につけ、考えるハンドボールに前進して行きたい。

社長さんはじめ会社の方たちは、ハンドボールにたいして非常にご理解があります。これにこたえるためにも私たちはすばらしいゲームを展開し、一日も早く全日本のタイトルを獲得するのが大きな目標です。それが社長さんはじめ会社の先輩への私たちのお礼だと思っています。

猛進あるのみ

日体大 主将 神谷 治夫

ことしは優秀な新入部員40人を迎え、新たな闘志をもって全員一丸となり栄光の道へ力強くスタートした。春の休暇を返上して水郷の地・麻生（茨城県）での春季強化合宿は〝和をもって技を征し〟ついには真のハンドボールの探究をなしとげた。さらに体力の増強、技術面の向上はよき先輩の惜しみないコーチでより一段とみがき上げられた。これによってわれわれはますます自信を深めた。ことしこそは荒川監督のもとに一致団結、人の和をもって全日本のタイトル奪回を目ざし、一戦一戦にライバルを粉砕する決意を固めた。なにごとも努力し、前進して行くことがわれわれの本望とするところです。「ことしもがんばる」このことばのごとく猛進あるのみです。

リーグの上位入賞

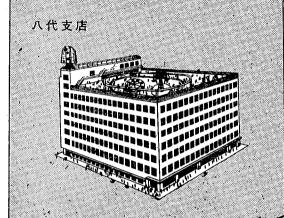
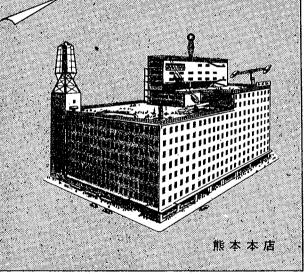
慶大主将 安達光三

わが慶大は過去数年不振の年が続き、各方面から伝統ある慶大ハンドボール部の活躍を望まれてきました。先輩の温かい励ましと部員の堅いチームワークが大きな力となって昨春は念願の一部復帰がなり

秋には一部の上位チームと対等に戦えた。そこでことしの春の関東学生リーグで、名門日体大を久しぶりに破ることができました。昨年、新監督を迎えて上昇気運にあるわが部としては、7月の全日本学生選手権でベスト4を目ざしています。

さて、話は関東学生リーグに移りますが、このリーグ戦でいかにして上位に進出するかが私の大きな目標です。春は不幸にして7位になりましたが、リーグ戦で下位にいたのではどうすることもできません。私たちの力がたらないのは百も承知です。秋までにはじゅうぶん力を蓄えてがんばります。

訂 正

本誌32号「1966年の展望（上）」のうち、一般男子の項で「市原選手がプロボクサーに転向…」は事実と相違しますので訂正します。詳しくは次号に掲載します。

昭和41年度関東学生春季リーグ戦は4月29日から5月15日まで東京・駒沢第二球技場で行なわれた。一部は予想どおり芝浦工大対立大の優勝争いとなり、最終日に無敗のまま顔を合わせた。前半7—7から立大が得意のスローペースで芝浦工大を押え、昨年春に次いで4回目の優勝を飾った。二部は早大、女子は日体大が優勝した。

【一部】

慶大、日体大を破る

▽4月29日

芝浦工大 26（13—13 13—5）18 教大

得	芝浦		教大	得
0	山村	GK	風間	0
0	伊藤	GK	上野	0
6	近藤	FP	大西	8
0	岩崎	FP	新堂	0
4	岡根	FP	高田	1
0	片山	FP	平岡	4
1	山田	FP	川島	5
6	近森	FP	小山	0
5	竹田	FP	畑	0
2	小林	FP	松井	0
2	高鍬	FP	古谷	0
26	（1）	7MT	（1）	18

〔評〕勝負は前半で決まったようなもの。後半教大はやっと調子を取り戻して対等に試合を展開したが、前半の失点はあまりにも大きすぎた。

立大 32（17—6 15—4）10 茨城大

中大 20（11—4 9—4）8 明大

慶大 19（9—7 10—10）17 日体大

〔評〕後半27分慶大は田中のゲットで17—17と追いつき、日体大をあわてさせた。追う者の強みで慶大は28分小椋のシュートで18—17とした。日体大は必死になって反撃し、井上、木村が連続シュートしたが慶大GKの好守にあってしまった。タイムアップ寸前、慶大は花野のダメ押し点で日体大を押えた。日体大で神谷葭の好プレーが光った。

得	日体大		慶大	得
0	佐藤	GK	山田	0
0	加藤	GK	西川	0
0	平井	FP	田中	3
8	神谷葭	FP	花野	6
0	早川	FP	石橋	2
1	高橋益	FP	安達	2
3	大宮	FP	米田	0
2	木村	FP	小椋	6
3	井上弘	FP	梶井	0
0	高橋菊	FP	古村	0
0	神谷治	FP	尾崎	0
17	（0）	7MT	（1）	19

芝浦工大快勝

▽30日

中大 12（5—6 7—4）10 慶大

日体大 20（9—7 11—6）13 明大

芝浦工大 34（17—4 17—5）9 茨城大

立大 24（12—3 12—7）10 教大

「評」立大はエース木野をはじめ野田、北村の好打で教大を一方的に破った。後半の教大は全く元気なく、むりなシュートを繰り返して自滅した。

得	立大		教大	得
0	尾形	GK	風間	0
0	川口	GK	上野	0
6	木野	FP	畑	0
1	東	FP	新堂	0
3	北井	FP	高田	0
6	野田	FP	平岡	4
6	北村	FP	川島	1
2	藤城	FP	大西	5
0	小野口	FP	小山	0
0	天野	FP	古谷	0
0	倉前	FP	松井	0
24	（2）	7MT	（3）	10

教大勝つ

▽5月4日

教大 18（9—4 9—8）12 中大

立大 27（17—9 10—2）11 慶大

芝浦工大 24（8—8 16—8）16 明大

日体大 27（15—8 12—3）11 茨城大

「評」日体大は持ち前の速攻で茨城大を押えた。茨城大はすべての面で日体大より劣り大敗した。各チームにもいえることだが、最近ゲームが非常に荒い。反省を促したい。

得	日体大		茨城大	得
0	佐藤	GK	菅原	0
0	加藤	GK	鈴木	0
5	大宮	FP	塚原	4
7	神谷葭	FP	橋本	3
0	田島	FP	小松	2
4	高橋	FP	清水	1
6	井上弘	FP	平塚	1
2	木村	FP	沼田	0
2	大原	FP	増井	0
1	井上亮	FP	坂下	0
0	神谷治	FP	島田	0
27	（1）	7MT	（2）	11

中大楽勝

▽7日

立大 22（13—5 9—2）7 明大

日体大 21（15—8 6—6）14 教大

芝浦工大 15（10—5 5—3）8 慶大

中大 23（9—7 14—0）7 茨城大

「評」中大はただ走りまくるだけだった。もう少し突進力がほしい。茨城大はスピードなく、ゴール前でのローリングが精いっぱい。からだが大きいのだから、もっとミドルシュートを打ってもよかった。

	茨城大	得	中大	得
GK	菅原	0	竹下	0
GK	鈴木	0	山崎	0
FP	島田	0	城	2
FP	塚原	0	渡辺	1
FP	橋本	1	森山	3
FP	小松	4	熊本	7
FP	清水	2	山中	3
FP	平塚	0	梅崎	5
FP	沼田	0	堀切	2
FP	坂下	0	佐野	0
FP	安	0	喜田	0

23（0）7MT（1）7

芝浦工大勝つ

▽8日

芝浦工大 21（8－7、13－5）12 日体大

	芝浦	得	日体大	得
GK	山村	0	佐藤	0
GK	大石	0	加藤	0
FP	近藤	5	神谷治	1
FP	岩崎	5	神谷葭	3
FP	関根	1	早川	2
FP	片山	0	大宮	4
FP	山田	4	井上弘	1
FP	近森	6	木村	0
FP	竹内	0	田島	0
FP	小林	0	高橋菊	0
FP	白神	0	高橋益	1

12（3）7MT（4）21

〔評〕 前半は1点を争う接戦。後半になると芝浦のロングがよく決まり、芝浦が試合の主導権を握った。日体大は前半のような走りがなく、芝浦に思うぞんぶん走られて敗れた。

関東学生春季リーグ（一部）

	立大	芝浦	日体	教大	中大	明大	慶大	茨大	試合	勝数	負数
1. 立大	×	○	○	○	○	○	○	○	7	7	0
2. 芝浦	●	×	○	○	○	○	○	○	7	6	1
3. 日体大	●	●	×	○	○	○	●	○	7	4	3
4. 教大	●	●	●	×	○	●	○	○	7	3	4
5. 中大	●	●	●	●	×	○	○	○	7	3	4
6. 明大	●	●	●	○	●	×	○	○	7	3	4
7. 慶大	●	●	○	●	●	●	×	○	7	2	5
8. 茨城大	●	●	●	●	●	●	●	×	7	0	7

立大 24（12－6、12－6）12 中大

教大 17（8－4、9－8）12 慶大

明大 24（10－3、14－12）15 茨城大

明大、教大に勝つ

▽14日

立大 21（7－4、14－8）12 日体大

	日体大	得	立大	得
GK	佐藤	0	尾形	0
GK	加藤	0	川口	0
FP	神谷治	1	木野	4
FP	神谷葭	0	東	5
FP	早川	4	北井	2
FP	大宮	1	野田	4
FP	井上弘	4	北村	5
FP	木村	2	藤城	1
FP	平井	0	小野口	0
FP	高橋菊	0	天野	0
FP	高橋益	0	倉前	0

21（1）7MT（1）12

〔評〕 前半は互いに慎重で一進一退。走りが少なく、セットプレーも見られなかった。後半立大は凡ミスが少なく、チャンスを着実にものにして得点を重ねた。

慶大 34（13－4、21－5）9 茨城大

芝浦工大 26（14－1、12－8）9 中大

明大 20（12－10、8－9）19 教大

〔評〕 後半、明大は風上を利用して6分までに5ゴールをあげ、17－12と5点差にした。これで明大の楽勝と思われたが、教大は徐々にピッチをあげ、18分には20－17と3点差まで詰めた。明大は勝

	明大	得	教大	得
GK	岩瀬	0	風間	0
GK	田中	0	上野	0
FP	毛利	7	松井	1
FP	堀	1	畑	0
FP	山田	7	新堂	1
FP	光本	1	高田	1
FP	小長田	0	平岡	4
FP	上田	0	川島	3
FP	鈴木	0	大西	9
FP	鈴下	0	小山	0
FP	藤井	4	古尾	0

19（3）7MT（1）20

ちを意識してか動きが鈍った。必死の教大は26分大西のゲット、29分30秒大西が7MTを決めて20－19と1点差にしたがゲームセット。明大は後半12分からタイムアップまで無得点。

慶大の善戦及ばず

▽15日

教大 35（17－4、18－4）8 茨城大

明大 13（7－5、6－7）12 慶大

日体大 19（10－9、9－4）13 中大

立大 12（7－7、5－3）10 芝浦工大

	立大	得	芝浦	得
GK	尾形	0	山村	0
GK	川口	0	伊藤	0
FP	木野	4	近藤	0
FP	東	2	岩崎	1
FP	北井	2	関根	1
FP	野田	1	片山	0
FP	北村	3	山田	1
FP	藤城	0	近森	5
FP	小野口	0	竹内	2
FP	天野	0	小林	0
FP	倉前	0	白神	0

10（1）7MT（0）12

〔評〕 前半、互いに優勝を意識してか動きが悪かった。後半になると立大は得意のスローペースで芝浦を苦しめ、小刻みに得点した。一方の芝浦はあせり気味となり、シュートミスで敗れた。とにかくいい試合だった。

二部は早大

〔二部〕

早大 28（14－5、14－6）11 武蔵工大

法大 22（8－4、14－5）9 東大

日大 24（9－6、8－11、4－4、3－3）24 防衛大 引き分け

早大 21（9－5、12－6）11 東大

法大 23（10－0、13－3）3 武蔵工大

防衛大 16（8－6、8－6）12 順天堂大

武蔵工大 10（5－4、5－3）7 日大

東大 20（6－12、14－4）16 順天堂大

早大 30（15－4、15－5）9 防術大

順天堂大 20（11－6、9－5）11 武蔵工大

日大 21（7－4、14－4）8 東大

法大 28（13－5、15－4）9 防衛大

早大 18（12－6、6－8）14 順天堂大

法大 36（16－6、20－6）12 日大

東大 17（6－2、11－5）7 防衛大

法大 23（11－4、12－4）8 順天堂大

早大 24（13－4、11－7）11 日大

武蔵工大 15（8－4、7－4）8 防衛大

東大 12（8－3、4－8）11 武蔵工大

順天堂大 20（10－2、10－6）8 日大

早大 12（6－5、6－3）8 法大

【二部順位】 ①早大6勝②法大5勝1敗③東大3勝3敗④武藤工大、順天堂大2勝4敗⑥防衛大、日大1勝4敗1引き分け

三部は国士館大

【三部】

明星大 13（7－5、6－6）11 東学芸大

千葉工大 36（19－1、17－6）7 東京理大

国士館大 27（14－4、13－7）11 関東学院

関東学院 17（8－9、9－7）16 上智大

明星大 13（4－5、9－5）10 千葉工大

東学芸大 34（16－3、18－7）10 東京理大

国士館大 21（9－7、12－9）16 明星大

上智大 24（9－4、15－6）10 東京理大

東学芸大 31（12－2、19－8）10 関東学院

国士館大 26（10－6、16－8）14 東京理大

千葉工大 21（9－7、12－6）13 関東学院

明星大 16（7－10、9－3）13 上智大
東学芸大 24（14－9、10－8）17 上智大
関東学院 23（9－9、14－5）14 東京理大
国士館大 19（9－6、10－5）11 千葉工大
千葉工大 25（15－12、10－7）19 上智大
国士館大 25（15－7、10－11）18 東学芸大
明星大 25（9－9、16－5）14 関東学院
明星大 39（24－3、15－1）4 東京理大
国士館大 34（16－13、18－5）18 上智大
千葉工大 19（2－1、3－2：8－5、6－9）17 東学芸大

【三部順位】①国士館大6勝②明星大5勝1敗③千葉工大4勝2敗④東京学芸大3勝3敗⑤関東学院大2勝4敗⑥上智大1勝5敗⑦東京理大0勝6敗

女子は日体大

▽女子（二回戦総当たり）
日本大 26（11－1、15－1）2 日女体大
東女体大 13（6－3、7－2）5 日女体大
日体大 20（9－2、11－1）3 東女体大
東女体大 19（10－3、9－4）7 日女体大
日体大 22（8－2、14－2）4 日女体大
日体大 23（10－1、13－2）3 東女体大

得	東女大		日体大	得
0	千明	GK	明神	0
0	速木	GK	小川	0
0	熊谷	FP	田井	7
0	池谷	FP	隈	0
0	岡本	FP	北口	5
1	八百板	FP	津田	5
1	杉田	FP	原	3
0	島津	FP	川口	3
0	大竹	FP	強矢	0
0	斎川	FP	内山	0
1	浅見	FP	中田	0
3	（0）	7MT	（1）	23

〔順位〕①日体大4勝②東女体大2勝2敗③日女体大0勝4敗

芝浦工大優勝

法大、日体大に善戦

◇関東学生新人戦（5月21日、23日、駒沢第二球技場）

▼男子1回戦
明星大 29（11－2、18－6）8 東京理大
教大 20（12－6、8－8）14 国士館大

▽2回戦
芝浦工大 19（10－8、9－8）16 教大
慶大 35（14－9、21－6）15 上智大
東京学大 19（7－12、12－6）18 武蔵工大
早大 22（12－10、10－7）17 日大
法大 14（10－10、4－3）13 明大
日体大 37（22－2、15－3）5 東大
中大 31（14－5、17－5）10 順天堂大
立大 21（11－6、10－3）9 明星大

▽準々決勝
芝浦工大 21（11－4、10－7）11 慶大
早大 22（13－7、9－8）15 東京学大
日体大 14（2－1、1－0、5－8、6－3）12 法大
立大 20（8－5、12－3）8 中大

▽準決勝
芝浦工大 18（9－5、9－8）13 早大
日体大 23（1－3、3－0、8－8、11－11）22 立大

▽決勝
芝浦工大 22（12－5、10－5）10 日体大

▼女子リーグ
東女体大 14（6－1、8－4）5 日女体大
日体大 24（12－3、12－3）6 日女体大
日体大 18（11－2、7－2）4 東女体大

早大、一部に返り咲く

◇関東学生リーグ部入れ替え戦（5月28日、駒沢第二球技場）

「一・二部」
早大（二部）21（15－7、6－3）10 茨城大（一部）

「二・三部」
日大（二部）18（10－7、8－7）14 国士館大（三部）

◇二部最下位決定戦
防衛大 16（11－5、5－10）15 日大

〔総評〕

よくなったマナー

安藤純光（関東学連副審判長）

メンバーに大きな異動のなかった立大は、対芝浦工大戦には接戦したものの最も安定した力を示した。エース木野が健在であり、守っては名手尾形の活躍で優勝した．芝浦工大はこのところ春に弱い。対立大戦まではまずまずの試合であった。しかし対教大、対明大戦ではともに後半同点という試合であり、近森、近藤の奮闘はあったものの、やや不安定なところが見られた。慶大に敗れた日体大は、持前の脚力を使って神谷葭らの活躍で三位を確保した。教大、中大、明大は得点・失点の差はついたものの、ともに三勝四敗と星を分けた。

教大は北井、明大は福本の卒業で、また中大は春の合宿中にエース百武君を失う不運があってそれぞれ戦力が低下した。慶大は第一日に日体大に勝って大いに楽しませたが、以後成績あがらず苦しいシーズンであった。三シーズン一部の座を守った茨城大は、ついに1勝もできなかった。

最後に、選手の試合マナーは一時に比べて著しく向上したが、いま一歩の努力がほしい。みんなで考えよう。

同大、攻守に抜群の力

甲南大の躍進目立つ

関西学生春季リーグ

関西学生春季リーグ戦は5月1日から大阪府堺市金岡競技場で開かれた。今季から大阪体育大が新加盟し一部8校、二部9校となった。一部は攻撃力にすぐれた同大があぶなげのない試合で全勝、2シーズン連続・通算10回目の優勝を飾った。二部は大阪大が4回目の優勝。

▽一部

同大 19（8－4、11－8）12 桃山学院大
関学 19（11－3、8－7）10 大阪経大
関大 22（13－5、9－3）8 立命大
甲南大 16（8－6、8－6）12 京大
甲南大 17（6－5、11－3）8 立命大
同大 18（9－3、9－2）5 大阪経大
関学 15（8－4、7－4）8 桃山学院大
関大 21（15－7、6－4）11 京大
甲南大 14（9－6、5－5）11 大阪経大
関大 18（6－6、12－5）11 桃山学院大
関学 16（8－9、8－7）16 京大 引き分け
同大 37（18－7、19－2）9 立命大
関学 20（13－3、7－6）9 立命大
甲南大 12（7－9、5－2）11 桃山学院大
関大 20（13－5、7－6）11 大阪経大
同大 18（8－6、10－5）11 京大
関学 17（9－9、8－7）16 関大
大阪経大 27（15－6、12－2）8 立命大
同大 21（11－11、10－4）15 甲南大
京大 34（19－9、15－11）20 桃山学院大
京大 17（5－7、12－9）16 大阪経大
桃山学院大 15（7－7、8－8）15 立命大 引き分け
関学 26（14－6、12－9）15 甲南大
同大 19（13－9、6－2）11 関大
大阪経大 17（9－6、8－8）14 桃山学院大
京大 23（11－10、12－4）14 立命大
甲南大 12（4－8、8－3）11 関大
同大 18（10－9、8－2）11 関学

【二部】①大阪大7勝1分②大阪学芸大7勝1敗③神戸大5勝2敗1分④大阪市大4勝3敗1分⑤大阪府大⑥大阪体育大⑦大阪歯大⑧京都教育大（前京都学芸大）⑨大阪工大

関西学生春季リーグ
（1部）

	同	学	甲	関	京	経	桃	立	勝	負	分
①同大	×	○	○	○	○	○	○	○	7	0	0
②関学	●	×	○	○	△	○	○	○	5	1	1
③甲南	●	●	×	○	○	○	○	○	5	2	0
④関大	●	●	●	×	○	○	○	○	4	3	0
⑤京大	●	△	●	●	×	○	○	○	3	3	1
⑥経大	●	●	●	●	●	×	○	○	2	5	0
⑦桃山	●	●	●	●	●	●	×	△	0	6	1
⑧立命	●	●	●	●	●	●	△	×	0	6	1

〔評〕 38年秋いらい3年ぶりの屋外リーグ戦。同大を除いては、各校ともいまひとつ盛り上がるものがなく、コーリサイドのOB連からも失望の声が出たほど。同大は攻撃にスピードが加わり、ほとんど前半で勝負を決めた。飯田、佐藤のポイントゲッターを林がうまくリードし、GK林谷の好パスアウトも速攻によく生かされていた。戦局を理解した試合運びも抜群で連続優勝は順当。

関学はエース飯端がマークされると動きが鈍くなる。最終戦まで優勝の望みをつないでいたものの、同大を上回る力はなかった。関大、京大は期待を裏切る低調で、とくに関大は関学に敗れた後は気力にも欠けて連敗。京大も昨春ほどの粘りがなく、わずかに関学戦で精彩を見せたにとどまった。

甲南大はよくやった。攻守にすごみこそないが、福田を軸にまとまり、最後まで試合を捨てぬ気力は賞していい。

餅原選手退社

大崎電気の餅原正脩君（中京商高出）は6月下旬、家庭の事情で退社、郷里名古屋市の実家に帰った。

× × ×

エールフランス

パリへの直行便 〈北極回り〉

ビジネスでヨーロッパへ旅行されるお客さまのために、エールフランスでは〈北極回り〉にボーイング707ジェット機を就航させております。

北極回り　東京発　午後　10時30分　〈水・土〉
パリ着　翌朝　9時5分

パリを中心として、ヨーロッパの各地にエールフランスの航空網が縦横にひろがっております。またエールフランスでは日本のお客さまのために、機上には日本人スチュワーデスを、ヨーロッパの各主要都市には21名の日本人駐在員を配置し、常にお客さまのお世話をいたしております。なお、南回りは〈月・火・木・土・日〉の午前10時30分パリへ向け就航しております。

AIR FRANCE

LE PLUS GRAND RÉSEAU DU MONDE

à Votre Service

東京都港区赤坂溜池　エールフランスビル　電話（584）1171代表
東京都千代田区日比谷　三井ビル　電話（501）6331代表
大阪市東区大川町淀屋橋　勧銀ビル　電話（202）6326代表
名古屋市中村区広井町3－88　大名古屋ビル　電話（54）0540

時評

地方選手権に権威を

現状は予選が主、タイトルが従

あるＯＢが「戦前、メーンエベントのひとつだった関東選手権を復活したらよいだろうネ」といったので、筆者は「関東選手権と呼ばれる大会は今でも行なわれているのですヨ」と答えたらびっくりしていた。それもそのハズ、この大会は関東選手権というより、国体関東予選という方が通りがよいのである。現行の関東選手権は、日本ハンドボール界初の公式大会として昭和12年10月に開かれ、その後も数多い話題を生んだ由緒ある戦前の同名大会と必ずしも直結するものではない。先輩の業績をしのぶ気持ちがあるのなら、タイトルを権威づけるためにも結びつけてもよいのではないが、と思う。

このことに限らず、ブロック選手権への関心が低いのは一考されるべき問題で、これは運営者とプレーヤーの両方に責任がある。たとえば「××選手権の記録を教えてください」などと聞くと『××選手権?』と首をかしげてから『ああ、国体予選のことです』とくる。選手たちも全国大会の予選を兼ねている場合が多いから、ブロックのタイトルよりも出場資格を得ることを第一の目的にしている。

こうした傾向の中で、6年前から関西以西の各協会の努力によって西日本選手権（一般男子）が復活され、各チームがこの選手権獲得をひとつの目標にしているのは特筆されてよい。この大会は、全国大会とはなんの関係もない独立した〃選手権〃で、県によってはこの大会のための予選をやっているほどだ。

昭和30年前後までは東日本、中部日本、西日本と三大地方選手権と呼ばれる大会があった。つまり西日本だけが復活されているわけだが、チーム数が増加した現在では、必ずしもそのような大きな範囲ではなく、北海道、東北、東海、北信越……といったいわゆるブロック選手権を、全国大会の予選と切り離してやる方向にもっていく努力をすべきではないか。

東海室内なども完全な地方選手権としての性格をもって開かれている。シーズン最後の大会として地元の報道関係も関心を示していると聞くが、そうしたブロック選手権大会は競技人口や普及を促すばかりでなく、役員、選手の親睦や無名選手の発掘などにも役立つ。ぜひとも全国大会の予選と切り離して実施してもらいたいものである。（駒沢球治郎）

× × ×

× × ×

× × ×

楽書き帖

早くも敵状視察!!

鶯尾武治

○…第19回都民体育大会ハンドボール競技が6月4、5、11日の3日間、駒沢オリンピック公園（つまり駒沢球技場）で開かれた。最初は2日間の日程だったが、4日は大雨となって3試合を消化しただけ。ことし初めての大会とあって各チームは大張り切り。大崎電気の男子は雨の中を約1時間練習するというお祭り騒ぎだった。監督の今野君がサイドから倒れ込みシュート（ゴールインせず）して泥だらけになったり、田口君は名レフェリー（迷レフェーリではない）ぶりを発揮して大向こうをうならせた。

○…〃打倒大崎〃とばかり試合開始の一時間前に三菱鉛筆の猪狩総務部長が乗り込むかと思うと、2連勝を目ざす千代田印刷機の古賀専務も雨の中をハイヤーを飛ばして駆けつけるなど、大崎電気の渡辺社長に見せたいほどのすさまじさだった。ところが降雨激しくなり、三菱鉛筆、千代田印刷機の試合がお流れになった。とたんにこのご両人、すごくがっかりして天を仰ぎ、うれめしそうな表情をしていた。とか思うと、昨年結婚した元大崎電気の田村うたちゃんがご主人同伴で茨城県から雨の駒沢へきた。もちろん大崎電気の応援である。これもまた雨のため応援できず、がっかりして帰って行った。

○…熊本から上京中の井君（大洋デパート監督）がひょっこり姿を見せた。〃敵状視察かね〃と水を向けたら「そんなんじゃないんですよ。会社の出張で上京したんです。土曜日だから駒沢へ行けば、ハンドボールをやっていると思って出てきたんです。みんなに会えてよかったと思っているくらいです。でも女子の試合が流れてしまってちょっと残念な気もします。なにしろ夏まで東京のチームと顔を合わせないので、なんとなく寂しいですね。でもことしは全日本のタイトルは全部いただくつもりです」と気炎をあげていた。

○…大会本部の役員がハンドボール会場を視察にきた。「ハンドボールって雨の中でもやるんですか」とびっくり。このあと「私はバレーボールに関係していますが、この雨ではとても…。ハンドボールの選手たちは気の毒ですね。泥んこになってボールを追う。でも都民のための祭典だし、底辺拡充のためにはいいことだ。雨のときは屋内体育館が使えるといいんですがね。全競技を一斉にやると、こういうことになりますね。来年から研究します」とハンドボールに同情することしきり。雨の中でもハンドボールができるということを知ってもらっただけでも大いに意義があった。

○…大崎電気、三菱鉛筆、東京重機の選手は、ライン敷き、ゴールポストの組み立て、記録係りと協力していた。感心。感心。

西ドイツの技術研究(3)

5:1防御にたいする攻撃法(上)

訳 藤　本　　強
（日本協会理事）

現在日本でも世界でも採用されている防御体制のなかで、最も多用されているのは5：1防御であろう。もちろん防御体制は攻撃体制に即応し、変化するものであるが、チームとして基本にしている体制は5：1が普遍的であろう。というのは、現在では3：2：1的な体制となり、5：1の欠点とされていた45度付近からのロングもしくはミドルシュートをもじゅうぶん防ぎうる技術が得られたからである。ここではドイツハンドボール協会の編み出した攻撃法について紹介してみよう。

A　序　言

（1）　戦術を考えて行なうことは試合にきわめて重要な意味を持つ。戦術は試合の経験から生み出されるが、それは走る方向とパスの方向に限定されてくる。これを最終的に運用するのは選手の力になる。

（2）　攻撃法は守備側の選手を上回る攻撃側の選手を作る目的のために準備をし、その目的を達成するものである。この攻撃側の選手が多くなることにより、ノーマークシュートを打てる選手が出てくる。このことによってノーマークになった選手は、チームのためにより可能性の大きいシュートを打つことができるようになる。

（3）　個々の攻撃法というのは、いずれも守備選手の位置を限定してしまうことにある。このさい、攻撃法は現在われわれが国内試合であれ、国際試合であれ、常用している基本的な守備体制によって決めていかなければならない。このように現在、支配的に使用されている守備体制として5：1防御があげられよう。これは現在の主要チームがほとんど使用している。

B　5：1防御の基本体制

5：1防御の基本体制は次のことばに尽きよう。1人の防御者がフリースローライン近くに出て守備陣形をとる。この5：1防御の一般的な形での深さ、幅を図化することはきわめて困難である。かつて雑誌に書かれた6：0防御のさいに示したように、6：0防御は5：1防御に変化することが可能である。ただ前に出ている守備選手6番の任務と、他のものとの関係は密でなければならない。守備陣形のなかでの彼の位置は、攻撃を成功させるためにはきわめて重要となる。攻撃側の選手は前に出た選手に、じゅうぶん注意する必要があろう。

C、前に出た選手の任務

前に出ている選手は次のような任務を持っている。

（1）　敵方のコンビネーションを乱すこと。特に後ろに控えている選手間のコンビネーションを乱すこと。

（2）　すばやくボールのあるサイドに左右に動くことによって、守備体制をリードすること。また同時に後ろに動くことによって、ポストにいる選手へのパスを防ぐこと。

（3）　ボール所有者を守備範囲内でアタックすること。さらに相手選手のロングシュート、ミュートを防ぐこと。

（4）　最も重要な任務は、常に相手ゴールに近いという最も有利な位置を利して、反撃に移れる心構えを持ち、その準備をしていること。この選手には、左右にも前後にも、広い守備範囲をカバーすることが要求される。この位置につく選手は反射神経、スタミナともにじゅうぶんに持っていることが要求される。この両者を兼ね備えた選手によって、初めてこの位置はこなすことができる。

（注意）　この位置の選手には明らかな、しかもすこぶる単純な特定の任務が課せられる。たとえば、相手の非常に危険な爆撃男（強力シューター）もしくは後ろに控えているある選手を特に守ることである。このような形でも一般的に5：1防御とよんでいいのか…という疑問が起きよう。Ⓐこれは単に5：1防御の変形として取り扱っていいものなのだろうか。Ⓑこの特殊な形は本質的な意味において、ひとつの個有の戦術として取り扱っていいものなのだろうか。Ⓒ新しい守備法としまっていいものなのであろうか。

この戦法の効果を特に研究する必要はない。というのは、この戦法は1人の前に出た守備選手が彼の相手にたいして、明らかに純粋

な守備の任務についているのであるから、あくまでも5：1防御の仲間として理解しなければならない)。

攻撃側の選手は以下のことをしなければいけない。

（1） ひと眼で相手側の防御体制を見抜くこと。

（2） 攻撃側選手は実際に戦術によって攻撃を始める前、もしくは行なっているときでも、常に相手の守備陣を理解するように努めなければならない。

（3） 攻撃側選手は前に出た守備選手の任務を、よく知っている必要がある。

この事項をあらかじめ話しておいて、実際の競技練習を二つのチームによる攻防戦によってやらせる。このとき、攻撃側は3：3のフォーメーション（ゴールエリアラインぎわに3人、フリースロライン寄りやや後ろに3人）をとる。守備側は5：1防御のフォーメーションを敷き、戦術的な意図を知らさずに練習をさせてみる。

この練習のさいには、守備側の選手は忠実に自己の守備動作を行なう。ただ5：1防御の基本体制は常にくずさないような方法をとらせる。もちろん走り込んでくる選手には当たることが必要となる。またボールを持っているものにたいしては、ボールを取るように努める。

攻撃側は確実なアタックをされないパスをつなぎ、最終的には完全にノーマークの位置にボールをパスするように練習する。この練習により基本的な走り方、ボールをパスする時と場所、さらに基礎的なコンビネーションプレーを知ることができるようになる。この練習形態は攻撃側の選手にわざわざ教えなくても、自然にしかも早く3：3の位置をどのように変えていくのがいいかを悟らせることが可能になる。

この練習形から選手たちは体験的に5：1防御に対しては、攻撃体形としては2：4フォーメーション（ゴールエリアライン近くに4人、後ろに2人）（第3図）が最も効果的にノーマークの人間を作り得るという極めて重要な事実に気づく。この効果は体験的に得られただけにすこぶる大きなものがある。この自分が悟った理想的な形は、なおコーチが実際にことばで説明し、形で示すことによって非常な理解が得られるようになる。このときに、特に3：3フォーメーションが2：4フォーメーションに流れるようにタイミングよく変わっていくことを示すことがたいせつである。

D、2：4攻撃法の基本形とその運用はいかにあるべきか

（1） 2：4の攻撃フォーメーションは4人のポストプレーヤーがエリアラインにおり、それぞれの攻撃のための任務を行なうフォーメーションとして知られているものである。彼ら（4人のポストプレーヤー）は第一線の攻撃ラインを敷き、2人の選手が第二線（浮いた位置の選手として）を形づくる。そしてお互いに連絡をとりながら攻撃するこれらの二線の選手はお互いに一つの目的のため一つの連係動作を行なう。

（2） チームの全員は常に攻撃の範囲全体を見ていなければならない。特にサイドに出る選手および浮いた位置にある選手は、これをよく知っていなければならない。サイドに広がることは（幅を持つこと）守備選手の位置を基本的な位置からずれさせることができ、したがって切り込みができる

ようになる。また深さを持つことも攻撃の戦術を成功させるのに大きな影響がある。

（3） 二本の攻撃ラインは互いに連絡しながら動き、前に出ている守備選手の位置に強い圧力をかける。このことによって、前に出ている守備選手が1人の選手に当たるという役割りができないようにしてしまうことが肝心である。言い替えるならば、いつの場合にも次々と選手が入れ替わり、前に出た守備選手がどの選手に当たったらいいかわからない状態にしてしまうのである。

基本的には、前に出ている選手の守備範すれすれに動き、彼の当たる人間をなくしてしまうのである。

（4） この基本的な要件が満たされるならば攻撃側選手が守備側選手の数を上回り、戦術の目的としてノーマークのシュートを打ち、得点をするということが可能になってくる。

第二列の選手はいろいろの役割りにおいて、相手よりすぐれていなければならない。すなわち非常に早く動き、予期せぬ力強い動きで前に後ろに動き回り、守備選手にとってきわめて危険な動きができなければならない。フリースローライン付近で、すばらしい動きをし、ポストプレーヤーとの連係動作によって守備側選手の守備陣にスキをつくらせる。それを利用し、相手にまさる人数を作り、すばやくそれを得点に結びつけることが、勝利に結びつく道である。

（次号に続く）

高橋君の結婚式

大崎電気男子マネジャー、高橋滋夫君（日体大出）同社女子マネジャー、伊藤せつ子さん（静岡城北高出）の結婚式は、大崎電気社長・渡辺和美氏夫妻の媒酌で5月15日東京教育会館で行なわれた。高橋君は5月1日付けで中部精機株式会社（愛知県）に出向を命じられ、5月21日着任した。新居は愛知県春日井市乙輪町六五四。

久連松選手引退

大洋デパートのエース、久連松美和子選手（熊本市立高出）は三月下旬現役を引退した。職場は大洋デパート人事課。

函館球界の現状
小中学への普及を

函館東高（北海道）

北海道の玄関口、函館市は北海道ハンドボールの移入地である。皆川先生の熱意ある好指導で全国的レベルに達し、国体で一般女子優勝、一般男子準優勝、高校2回、高校男子準優勝、高校女子3位というすばらしい成績を残しています。しかし中学校の教科時およびクラブ活動の指導がないため、高校に入学して初めてハンドボールを知るのが現状です。したがって基礎指導に時間がかかり、全国的レベルの道は遠い。われわれ指導に携わる者への最大の課題は、底辺の拡大であり、いかにして小学校、中学校へ普及発展させるかである。

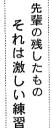
函館東高チーム

私たちの函館東高ハンドボール部は男女ともチームがあります。女子は部員が少なく、函館地区の試合に出るのがやっとという状態です。男子は全道3連勝し、昨年は熊本市のインターハイで初めて準々決勝に進出し、後輩たちへよいプレゼントをしました。南国特有の熱風のなかで、名門清水商高とあれだけプレーできたのですから、もう少しで全国レベルに達するのも近い将来訪れましょう。清水商高との一戦で大いに自信をつけました。

私はハンドボールについては全くのしろうとですが、北海道の片すみで少しでもお役に立ちたいと努力しています。（小川智博）

先輩の残したもの
それは激しい練習

室蘭清水ケ丘高（北海道）

「ハンドは練習がきびしいから…」「ハンド部にはいると、6時前には帰ることはないそうよ」……ことしも1年生の各運動部加入の日が近づいた4月末のある日、1年生たちの会話である。確かに私たちの練習を見ている友だちにはそう目に映るかもしれない。私たちは目に見えないなにかが常に脳裏をかすめ、それが練習へひたすらにかりたてています。

室蘭清水ケ丘高の練習風景

「なにかとは」先輩の残された過去の好成績と激しい練習なのです。本校は昭和33年から北川勇喜先生の指導を受けて、ハンドボールが新しい運動クラブとして誕生していらい先輩たちは先生の激しい指導に耐えてきました。昭和36年に全道を制覇し、4年間タイトルを保持しましたが、昨年は室蘭商業にその座を譲りました。「一度失った覇権を取り戻すのは、最もむずかしい」と先輩の言にあるように…。

いま私たちは最も困難な状態におかれています。先輩の残された「ハンドボールとは激しい練習」と私たちの練習の糧（かて）として、覇権奪回のためにきょうも歯を食いしばり、暗くなったコートでボールにとびついています。

"打倒" 盛岡一高
東北学院大にも勝つ

大曲農高（秋田）

秋田県高校のハンドボールは第5回（昭34年）県総合体育大会参加に始まっている。本校ハンドボール部の歴史は、現体育部長の藤井東竜先生によって創立された。第6回総合体育大会の初参加に始まり、第7回大会で2年目ながら優勝し、その後第8回、第9回と3連勝している。一方、県民体育大会で第13回（昭和37年）第14回大会と湯沢高を破り2連勝している。昭和39年は勝運に恵まれず、総合体育大会、県民体育大会ともに敗退したが、昨年度は第11回総合体育大会、第16回県民体育大会に優勝し、国体出場をかけた東北予選で盛岡一高（岩手）と2回戦で激闘を展開した。盛岡一高とはさきの熊本のインターハイで抽選負けをしているので必勝を期して戦ったが、またも延長2回で惜敗した。ことしは県大会2連勝と、盛岡一高を倒すべく毎日猛練習に励んでいる。なお、昨年の東北総合選手権大会で、優勝候補の東北学院大学を破る殊勲の星をあげている。これは大いに自慢にしている。

40年度秋田県総合体育大会で—
秋田南高対大曲農高戦から

前橋市立女子高チーム

まだヨチヨチ歩き　早く一人前になろう

前橋市女高（群馬）

私たちのクラブの歴史は浅い。ことしで6年目を迎えたばかり。まだヨチヨチ歩きなのだ。歩いてはころび、やっと起き上がる。二、三歩も歩くと、またころびそうになる。そして一年、二年たち、自分の育ったところから、不安な気持ちで、新しい世界へ飛び込んでいく。

私たちの部員数は非常に少ない。なぜだろうか。ハンドボールとは「こういうものだ」ということが、ほとんどの人の心に、はっきりと描かれていないからではないだろうか。試合に行く途中も、学校においても「ハンドボールってなにするの？」と必ず聞かれる。そんなとき私たちは寂しくなる。

〃早く一人前になろうね〃。私たちはこんなことをよく話し合う。そして毎日の練習のなかに、そのことばが本ものになるように努力しているつもりである。私たちが、一人前になったら〃ハンドボールってなに？〃と、みんなに聞かれなくなるだろう。私はそう信じている。

上は都小岩高の練習風景

先輩との深い交流　私たちの誇り

小岩高（東京）

私たちの学校でハンドボールクラブがつくられてから三年たちます。この三年にはいろいろなことがありました。合宿での苦しい練習、試合中のすばらしい緊張、そしてそのなかで見いだされた勝利、なかでもいちばん頭のなかに残っているのは、先輩と行った二年の夏の合宿です。いつもは放課後だけ顔を合わせる先生がたや先輩と、六日間をいっしょに暮らし、ランニング、ダッシュ、キャッチボールと広々としたグラウンドでホコリをたて、汗を流す。なぜ苦しくて苦しくて「どうしてこんなことをしなければいけないのか」と自問自答した自分。帰りには「もう終わりなの？」といった気持ちになるあの不思議な力をもった合宿。いつも先輩が言っていたじ釜の飯を食う」とは、このことなのだとしみじみ味わったものもこのときでした。クラブ創立から日も浅く、先輩たちは私たちといっしょになってハンドボールの基礎をやりました。そのためか、先輩との交流はどのクラブより強く深く、それが現在の私たちのクラブの特徴となり、また私たちの誇りでもあります。

時習館高の練習

目標は県大会優勝　ことしの抱負

時習館高（愛知）

午後三時半ともなると、広いグラウンドにボールが飛び、わがハンドボールクラブの練習が始まる。新しい年の、新たなる希望にもえ、ボールを投げる手にも力がはいる。どの部員の顔も真剣そのものだ。だが、昨年まではわがクラブは、部員不足という大きな悩みを持っていた。これは練習をはじめ、いろいろな面においても大きな欠陥であった。そのため実力を100％発揮できないときもあったが、ことしは部員にも恵まれ、また専門の新しい指導者を迎え、部員一同張り切っている。

現在の目標は県で優勝し「インターハイ、国体に出場する」ことである。愛知県といえばハンドボール王国。こうした環境のなかで優勝することは、苦難の一途と考えられる。ぼくたち部員一同は「チームワーク」を第一のモットーとして、目ざす目標に向かって努力していきたいと思う。しかしただそれだけのための練習、クラブ活動ではいけないと思う。クラブ活動の真の意義を、ハンドボールを通してつかみ、そして自己の成長に役立てたいと思う。

むずかしい　全国優勝

盛岡一高（岩手）

盛岡一高にハンドボール部が創立したのは昭和24年ごろ。第3回インターハイらい14年間連続出場という伝統を持っています。そして第15回大会で、12回多年出場校として栄誉ある表彰を受

主将　堀合英則

けました。これほど出場しているなら一度は優勝してもいいものだが、なかなかむずかしく、まだ果たしていない。

過去12回大会に出場して3位になったのが最高で、ほとんど2、3回戦で敗れてしまう。これは県のチーム数の少なさからくる試合経験の未熟さ、レベルの低さ、練習のちがいなどいろいろあると思います。ことしは待望の地元開催—これは長い間、諸先輩の夢がちょうど、われわれの時期に実現したのです。県協会はいろいろレベルの向上をはかり、ことしの1月には、われわれ母校の先輩である北村尚英（大崎電気）さんを迎えて指導を受けました。ことしは大いにがんばります。

卒業後が楽しい　OBクラブ結成も

鴨沂高（京都）

ぼくたちの高校にハンドボール部ができたのは昭和36年である。第一回卒業生12人、第二回6人、第三回6人、第四回4人、第五回5人、そしていまわれわれ三年生が第六回卒業生となろうとしているのだから、まだまだハンドボール部の歴史は浅いし、先輩の層も薄い。初めのころはたいへんだったそうで、部員も二人になったこともあったそうだ。だが、そんなときにもくじけず、先輩はがんばった。そのおかげでいまでは部員14人で、案外まとまった練習ができるようになってきた。また夏にはキャンプ、合宿をやってチームの和をつくるのに努めている。

過去の成績は39年インターハイ京都府予選、総合体育大会で3位に入賞している。ところで今度第五回卒業生の先輩が中心となり、OBのクラブを結成しようとしている。活動してくださる先輩も十五、六人おられるのでやっていけると思う。これから卒業するぼくたちも、卒業してからもハンドボールが続けてやっていけることはたいへん楽しいことだ。

鴨沂高チーム

第20回国体に出場した　枚方高校チーム

ことしで四年目　昨年、国体に出場

枚方高（大阪）

私たち大阪府立枚方高校ハンドボール部は昭和38年学校設立と同時につくられ、ことしで四年目を迎えました。この間、先生がたや部員全員が力を合わせて努力した結果、待望の第7回近畿高校選手権大会、第20回国民体育大会出場の栄冠を勝ち取ることができました。近畿大会二回戦で甲子園学園に敗れ、国体の一回戦で延長に延長を重ねた結果、抽選で敗れるという辛い結果ではありましたが、先輩たちがこの三年間で築いてくださった伝統をむだにすることなく、よりいっそうりっぱな伝統を築いていこうと毎日の練習に励んでいます。

少ない対外試合が悩み　全国レベルにほど遠い

松江市女高（島根）

本校のハンドボールの歴史は浅い。発足いらい二年数カ月しかたっていない。県下の高校で女子チームがわずか三校という現状からみても、全国的レベルにはほど遠い感じがします。三

松江市立女子高チーム

年生を中心に旺盛な研究心と闘志で、そのギャップを埋めるべく努力しています。対外試合をやることによって経験を深める機会が少ない。これが残念です。本やハンドボールマガジンなどを利用して基礎的な技術の習得に全力を傾け、恥ずかしからぬ試合ができるよう心がけています。

昨年、一昨年と全国高校選手権大会出場し、試合経験の不足を痛切に感じました。県下の実状から、いかに実戦的な練習方法をとるかが大きな課題となっています。ことしの全国高校選手権大会にもぜひ出場し、一矢を報いたいと思っています。

「島根県に松江市立女子高あり」といわれる日を夢見ていますし、きょうも二十数人の部員が一丸となって練習に汗を流している。

ハンドボールの母となれ 女子高校らしいチーム

米沢女子高（山形）

本校ハンドボール部は「山形県ハンドボールの母」ならんと、昭和38年に結成したチームです。当時山形県には特定地区の高校男子4チームだけで「健全な母体の育成」を目的に考案されたハンドボールが、ちょうどラグビー、サッカーなどのように男子のみの球技という感じでした。当時の新聞は「男子顔負けの勇しき姿」と報じて、あたかも男性化した女学生という見方をしていたものです。しかし本校クラブは日常生活では、譲を重んじ、クリーンなスピリットを身上に、最も女学生らしい女学生と自負していきます。昨年から、一人ぼっちのチームに、一般女子チームの三菱鉛筆、NEC、米沢女子高OGの三つのおねえさんチームができました。

部結成3年間はチームの形成に専念してきましたが、4年目を迎え、ユニホームも新たに部員39人。一般と飛躍を期し、一致団結をモットーにまじめな性格と健全なる精神練磨、身体育成に毎日精進いたしています。（五島訓二）

米沢女子高校チーム

調和と先行 人の先に立て!!

山陽女子高（広島）

私たちのハンドボールクラブができて8年目である。8年前にできたときは苦しいことが数多くあったそうだ。いまのハンドボールクラブをつくってくださった先輩たちの伝統を受け継いで、その伝統をくずさぬよう心がけています。そして少しでも進歩し、発展するように部員一同ことしもがんばろうと張り切っている。

ことしの目標として、ディフェンスでHBは相手のパスを乱し、カットをねらい、速攻にでること。FBは全体をよく指示し、ロングシュートをつぶす。サイドは速攻に出るタイミングを重点に練習している。またオフェンスはロングシュートを重点にサイドシュートの確実性。ポストなど細かいプレーもマスターし、「ことしこそは…」と全国大会を目標に毎日の練習に精進している。

滝口治代さん

私たちのチームは〝調和と先行〟ということばをモットーに練習している。〝調和と先行〟ということは、つり合いをとりながら先に立って行くということで、チームワークをとりながら人よりも一歩でも先に立って練習するということになる。毎日、練習の前に〝調和と先行〟ということばを思い出し、きょうも一日がんばろうと20人の部員はハッスルしている。数えてみれば、41年度のシーズンも3カ月をすぎ、あと9カ月しかありません。5月の中国大会で優勝した。これを土台にして今年のシーズンを悔いなく、後輩を引っ張っていきたい。そしてチームの中心としてはずかしくないように一致団結してことしもがんばろう。（主将＝滝口治代）

指導者に深く感謝 ようやく軌道に乗る

都城泉ケ丘高（宮崎）

宮崎県立都城泉ケ丘高校は、いったい日本のどこにあるのだろうかと、思われる人が多いことと思う。宮崎県はご存じのとおり、緑と陽の国です。都城市は霧島盆地の中央に位置し、人口十数万の小都市です。わが高校は、普通課程を主とした男女共学の総生徒数1、500人（男女半数ずつ）の規模をもつ学校です。体育クラブ数は16あり、そのひとつにハンドボール部が存在しています。昭和38年、県に初めてハンドボール部なるものが設立されました。結成いらい県教委、帆足県協会長、北村、福井両副会長をはじめ学校当局のご努力ご援助で、ようやく軌道に乗り、部らしきものに成長させてきました。また日本協会から中野、佐野両先生、熊本県から藤田、北川両先生、鹿児島県から古市、蒲山両先生そのほか九州協会の方々からのご指導のたまものと深く感謝しています。未熟なチームですが、今後ともよろしくご指導願いたい。ハンドボールの底辺拡大に私も努力します。

池之上 監督

インターハイを迎えて

地元高校生の友愛と奉仕

佐藤　敦
（岩手県協会理事長）

佐藤　敦氏

昭和41年度全国高校総合体育大会岩手大会は8月上旬、高松宮ご夫妻のご臨席のもとにハンドボール、体操、登山、剣道の四種目に若い力と技と心をきそい合う。約5000人の若人を全国から迎えて8月2日から9日まで盛岡市を中心に開催されることになりました。インターハイが総合制をとって実質2年目になりますが、それぞれの種目は学校対抗による選手権大会であり、大会全体のあり方としては今後なお検討されなければならない事項も若干あろうかと思われます。

ハンドボールは8月3日から8日まで新装成った岩手県営運動公園球技場で開かれますが、全国高校選手権大会として、回を重ねること17回。この間、関係者の長年のご尽力と関係各チームのたゆまぬ精進によって年々発展の一途をたどり、日本ハンドボール界の大きな推進力となっていることは喜ばしい。

1972年のオリンピック参加という新たな目標をもつハンドボールにたいして、世間の関心が急激に高まりつつある現在、沖縄を含む47都道府県が初めて勢ぞろいして開かれる本大会の意義は、まことに大きいものがあります。このような大会を迎えることは、主管県としてこの上ない光栄であり、その責任の重いことを痛感します。

県実行委員会は高体連、県協会が中心となり、関係方面と緊密な連絡をとって準備を進めています。主会場として市中心部から北へ約3キロ、秀峰岩手山を目の前に仰ぐ観武ケ原に、県営運動公園（陸上競技場、補助競技場、ラグビー、サッカーなどの球技場、テニスコート、野球場）を建設しています。開会式は体操、登山と合同で、それぞれ種目別の特色を生かすようくふうしています。ハンドボールはスタンドをはさんで並列するラグビー、サッカー場（各2面ずつ）を予定しています。

一方、盛岡市当局は選手諸君のねぎらいの一助にと〝水祭り〟を準備し、地元高校生は、遠来の友が期間中、楽しく過ごされ、よりよい思い出の大会となるよう、各チームそれぞれにお世話する役を引き受けることなどを計画しています。

この大会を契機として、総合大会のあり方の基本路線の確立を願っている。高校生の心からなる友愛と奉仕によって質素にして、力強いしかも崇高な心で運営され、全国の選手諸君の期待と満足が得られよう晴れの代表チームのご来盛を心からお待ちいたしています。

＝　＝　＝

インターハイ目ざす

沖縄興南高
顧問　安次富　善弘

昨年の4月に、日本ハンドボール協会の馬場副会長らが熊本市立高校女子チーム一行を引率し、遠路はるばる初めて沖縄に来島しました。そしてハンドボールの講習会、親善試合などで指導を受け、おかげでその年の6月に初めて沖縄高体連にハンドボール部が設立しました。これと歩を同じくして沖縄ハンドボール協会が結成され、われわれハンドボールの愛好者としては意義の深い年でした。

おかげで6月29日に第1回全沖縄高校選手権大会を開きました。なにしろ初めてのことであり、参加チームがわずか男子8、女子7チームにすぎませんでした。大会の結果はわが興南高校（男子）が優勝しました。そして初の沖縄代表として全国大会に出場したのです。熊本市の全国大会で興南高校は初参加ながら2勝して、全国ベスト16位の成績を得たのは全く予想もしなかったことです。われわれにとって最高の試合だったと思います。また昨年12月の末には、沖縄に全国高校選抜ハンドボールチームが来島し、親善試合、講習会などを開いていただきました。前後2回にわたるご指導によって、沖縄のハンドボールを一段と普及し、いまでは沖縄の各高校に次々とハンドボール部が誕生しました。ことしの6月には全国高校沖縄予選大会を開きました。

さて興南高校チームも昨年全国大会に参加していらい男女とも、ことしの青森の全国大会を目ざして毎日練習しています。この全国大会でみなさんにお会いできる日を楽しみにしています。昨年の熊本大会ではみなさんの暖かい心からのご援助、ご指導に厚くお礼申し上げます。

連載第23回

ハンドボール球史

〜全日本学生王座決定戦編〜

関東学連と関西学連の優勝校同士によって、学生ナンバーワンの座をかけた一戦を行なおうという構想がねられたのは、昭和23年秋のことであった。当時の国内情勢から、東西の大学を一堂に集めて学生選手権（インターカレッジ）をきそうことはむずかしく、1位同士の対決に学生界最高の権威を与えようというこの企画は当て得ていた。それと同時に、両者によって全日本学生連盟が結成され、学生界の充実をはかることにもなった。

本号の球史は東西学連の接点ともなり、戦後の球界に大きな足跡を残した「学生王座決定戦」の歴史をたどることにしよう。学生王座決定戦には〃前史〃がある。第1回（昭21）、第2回（昭22）国体に行なわれた〃東西学生優勝校対抗〃である。（もっとも、この試合を学生王座決定戦の前史とするという資料や申し合わせはひとつもなく、記者だけが勝手に価値づけていることをお断わりしておく）。

戦後すぐ活動を始めた関西学生界が、先輩格の関東側と王座を争う場を求めていたことは事実である。折よく国体の開催が決まり、その一部門として参加したわけである。学生王座が発足した昭和23年以後は、姿を消したことからも、この試合を前史とするのに異論を唱えられる人は少ないのではないか。両年のスコアは次のとおりであった。

▼第1回国体東西学生優勝校対抗（昭和21年11月3日・西宮）

大阪歯医専 5（4—1／1—0）1 早大

▼第2回国体東西学生優勝校対抗（昭和22年11月2日・金沢）

早大 10（4—6／4—2／……／1—0／1—0）8 大阪歯医専

西宮で第1回大会

さて第1回の東西学生王座決定戦（注・第9回までは東西学生王座戦と呼ばれ、現行の全日本学生王座に攻められたのは第10回）は、全日本生連盟結成記念シリーズのメーン・エベントとして昭和23年12月19日西宮で行なわれた。出場資格は東西秋季リーグ戦の優勝校。春秋のうち、秋季が選ばれたのはその年の総決算の意味からであった。学生界に「春よりも秋に勝とう」というムードや「夏合宿が勝負」といったことばがあるのは、この影響ではないだろうか。

最初の計画は東西の中間地名古屋市で行なわれるはずであったが、毎年東西で交互に受け持つことになった。第1回のこのシリーズで、第1回全日本学生選抜東西対抗なども開かれたことは本誌29号の球史ですでに述べた。また、王座戦の前に、秋季リーグの2位校によって〃2位対抗試合〃が行なわれ、第9回（昭31）まで続けられた。

▼第1回（昭和23年12月19日・西宮）

文理大（関東）5（2—1／3—3）4 関学（関西）

【関学】GK 熊倉 FB 桧垣、近藤 HB 田中、柿崎、田村 FW 葛上、渡辺、白井、鈴木、土屋

【文理】GK 高橋賢 FB 箱崎、鈴木 HB 安藤、川島、高橋 FW 岡村、萩原、松本、藤原、端山

【交代】（関学）FW山田、畦西

▽2位対抗戦

早大（関東）8（3—2／5—2）4 大阪歯大（関西）

▼第2回（昭和24年年12月18日・駒沢）

関学（関西）5（3—3／2—1）4 日体大（関東）

関学は初優勝、関西側の優勝も初めて。

【関学】GK 熊倉 FB 松本、乾 HF 甲谷、田中、川畑 FW 白羽、白井、渡辺、本西、鈴木

【日体】GK 高倉 FB 菅間、中野 HF 安井、稲石、渋谷 FW 猪原、西田、小川、浦上、勝

▽2位対抗戦

明大（関東）5（2—0／3—4）4 大阪工専（関西）

▼第3回（昭和25年12月10日・西宮）

関学（関西）5（2—2／1—1／……／1—0／1—0）3 早大（関東）

関学は2連勝2回目。関西側2勝1敗

【関学】GK 熊倉 FB 松本、桧垣 HB 甲谷、菅谷、川畑 FW 白羽、白井、渡辺、本西、筒井

【早大】GK 栗崎 FB 朝垣、森岡 HB 太田、隅田、天野 FW 西原、小野、梅垣、小沢、池上

【交代】（関学）FB乾。（早大）FW今井

▽2位対抗戦

教大（関東）12（3—2／2—3／……／3—3／4—2）10 大阪歯大（関西）

▼第4回（昭和26年11月25日・駒沢）

関学（関西）8（5—4／3—3）7 立大（関東）

関学は3連勝3回目、関西側3勝1敗。

【関学】GK 熊倉 FB 藤原、乾 HB 甲谷、川畑、山之内 FW 渡辺一、渡辺忠、森島、朝日、白羽

【立教】GK 浜田 FB 中村、横田 HB 嶋田、田辺、中村一 FW 杉山、浦上、小川、渡辺、進藤

▽2位対抗戦

大阪歯大（関西）7（1—2／2—1／……／1—1／3—1）5 慶大（関東）

2位対抗戦で関西代表が勝ったのは初めて。

▼**第5回**（昭和27年12月14日・西宮）

関学（関西） 9（4―3 5―4）7 日体大（関東）

関学は4連勝4回目、関西側4勝1敗

【関学】和原田日谷内山忠島原羽
大藤寺朝甲山之中渡辺森田白
GK FB HB FW
【日体】山本井地藤 田原野木山
片山石菊遠 林 石金浅鈴高

▽2位対抗戦

立大（関東） 8（4―1 4―2）3 大阪歯大（関西）

▼**第6回**（昭和28年11月30日・神宮）

関学（関西） 13（6―5 7―6）11 早大（関東）

関学は5連勝5回目、関西側5勝1敗

【関学】幡原内窪日良西原島辺山
降藤山之伊朝吉今田森渡中
GK FB HB FW
【早大】田子辺藤田田畑田岡見山
石中渡後隅大志五十吉森樽松

▽2位対抗戦

日体大（関東） 12（7―5 5―2）7 同大（関西）

▼**第7回**（昭和29年12月4日・西宮）

関学（関西） 9（5―1 4―5）6 日体大（関東）

関学は6連勝6回目、関西側6勝1敗。

【関学】和田原永 窪川日島原西
大寺石吉 森 伊芋朝森田今
GK FB HB FW
【日体】野月藤野本藤田原木野沢
小望遠狩山斎幸金銀浅柳

▽2位対抗戦

同大（関西） 6（6―4 0―2）6 芝浦工大（関東）
引き分け

関学7連勝成らず

▼**第8回**（昭和30年11月26日・神宮）

日体大（関東） 10（4―4 6―5）9 関学（関西）

日体大は初優勝、関東側の勝利は7年ぶり2回目

【関学】田原田江 藤西原中伯川
植石寺深 森 安今田村佐芋
GK FB HB EW
【日体】野 堀 小鳥居 森 藤田末野沢田野
小 斎今広浅柳幸竹

▽2位対抗

立大（関東） 17（7―5 10―7）12 同大（関西）

もつれた第9回大会

昭和31年の王座池定戦は開催までもつれにもつれた。これは同年秋季リーグを前に、関東側で昭和29年春に次ぐ2回目の分裂騒動があったからである。関西側はいち早く関学の秋季優勝が決まり、王座決定戦に備えていた。関東側は11月5日東京都大学連盟が秋季優勝校として慶大を発表、同8日には関東学連が芝浦工大を王座戦に出場させると発表した。

しかも両連盟とも前者は明大を、後者は日体大をそれぞれ2位対抗戦に関東代表として出場させることまで決めていたのだから、互いに、刺激し合うばかり。たまりかねた関西学連は、予定された11月18日（西宮）を無期延期とし、関東側に両者の調整を行なうよう要請した。

その結果、芝浦工大と慶大が関東代表権を賭けて対戦することになり、芝浦工大が勝って同校が王座決定戦へ、慶大が2位対抗に出場することで解決した。そして年も押し詰まった12月22日、西宮でようやく開会された。

▼**第9回**（昭和31年12月22日・西宮）

芝浦工大（関東） 9（5―5 4―3）8 関学（関西）

芝浦工大は初優勝、関東側は2連勝、通算3勝7敗。

【関学】上田原原 本口伯中江
村八石安 森 榎本佐村深 前
GK FB HB FW
【芝浦】野石森岡野生上部藤原藤原俊
今大高山浜稲中服近宮宮

▽2位対抗

慶大（東京） 14（9―4 5―3）7 同大（関西）

全日本学生王座と改称

第10回大会からその名称が全日本学生王座決定戦と改められ、東側は関東学連の自動的出場が廃止となり、東北・北海道学連、東海学連の秋季優勝校によって〝予選〟ともいうべき大会が開かれるようになった。（昭和40年から北信越学連参加）西側が関西学連と中四国学連とで〝予選〟を行なうようになったのは3年後の昭和35年からである。

なおな改称と同時に年次回数もこの年を第1回とするよう変更され、昭和37年から再び通し回数を戻った。また、この年さら「2位対抗戦」は行なわれなかった。

▼**第10回**（昭和32年12月15日・後楽園競輪場）

芝浦工大（東・関東） 21（10―5 11―6）11 関学（西・関西）

芝浦工大は2連勝2回目。

【関学】上永田川東場口向中江井
村湧八富安市木日村深福
GK FB HB FW
【芝浦】野武石岡沢井田部藤原藤原俊
今光大山黒高山服近宮宮

▼**第11回**（昭和33年11月30日・西宮）

関学（西・関西） 12（5―4 7―6）10 芝浦工大（東・関東）

関学は4年ぶり7回目。

【関学】田永淵東川本向場中江井
津湧山安富榎日市村深福
GK FB HB FW
【芝浦】本武善厳沢井川部田藤俊 上上 原原
福光村村黒高塩服山宮宮

なお第12回（昭34）以後は次のとおり本誌各号に詳報されている。

▽第12回（芝浦工大）…1号27頁
▽第13回（関　学）…4号18頁
▽第14回（芝浦工大）…8号18頁
▽第15回（芝浦工大）…12号18頁
▽第16回（芝浦工大）…16号26頁
▽第17回（芝浦工大）…19号25頁
▽第18回（芝浦工大）…29号25頁

【全日本学生王座決定戦編・完】

富山大が2回目の優勝

北信越学生春季リーグ

北信越学生春季リーグ戦は5月5日富山県高岡市の高岡高校体育館で行なわれ、富山大が金沢美術工芸大の3連勝をはばみ、3シーズンぶり2回目の優勝を飾った。

富山大 30（16―4 14―9）13 金沢大

金沢美術工芸大 17（10―6 7―4）10 金沢大

富山大 18（7―5 11―3）8 金沢美術工芸大

【順位】①富山大②金沢美術工芸大③金沢大

〔東京都協会だより〕

男女とも大崎電気が優勝

三菱鉛筆善戦

第19回都民体育大会ハンドボール競技は6月4、5、11日の3日間、東京・駒沢球技場で開かれた。男子は11、女子は4チームが参加した結果、男女とも大崎電気が優勝した。

▼男子1回戦

城南ク（港区）13（4―2　9―7）9 蜂山会（世田谷区）

桂友ク（杉並区）12（6―2　6―3）5 桑朋ク（八王子市）

法政二高ク（大田区）17（7―1　10―4）5 中野ク（中野区）

▽準々決勝

千代田印刷機（千代田区）16（5―3　11―3）6 城南ク

台東ク（台東区）29（10―12　12―10　4―2　3―3）27 若木ク（渋谷区）

法政二高ク 19（8―4　11―12）16 安田生命（新宿区）

大崎電気（品川区）37（22―2　15―7）9 桂友ク

▽準決勝

千代田印刷機 22（12―5　10―8）13 城南ク

大崎電気 27（14―3　13―5）8 法政二高ク

▽3位決定戦

法政二高ク 25（9―12　16―11）23 台東ク

▽決勝

大崎電気 31（11―7　20―10）17 千代田印刷機

▼女子リーグ

東京重機（調布市）23（12―1　21―2）3 鷗クラブ（台東区）

大崎電気（大田区）12（3―5　9―1）6 三菱鉛筆（品川区）

大崎電気 28（13―2　15―0）2 鷗クラブ

東京重機 8（3―4　5―1）5 三菱鉛筆

三菱鉛筆 不戦 鷗クラブ

大崎電気 11（4―2　7―2）4 東京重機

（順位）①大崎電気3勝②東京重機2勝1敗③三菱鉛筆1勝2敗④鷗クラブ3敗

8月下旬に中学校大会

東京都中体連ハンドボール部は8月25日から27日まで駒沢球技場で東京都中学校大会を開く。現在男子34、女子20合計54チームがあり、これを一ヵ所に集めて大会をやろうというもの。中体連選出の松田利秋常任理事は6月13日の東京都協会常任理事会に出席してこのむね報告。東京都協会としては「このさい底辺拡大もさることながら将来への足がかりのために、現在の中学生に心からハンドボールを愛してもらうため、東京都協会は全面的に協力する」ことを申し合わせた。

登録チームふえる

新設は22チーム

東京都協会は5月31日に本年度の登録を締め切った。登録チームは111チームで、昨年度に比べ14チーム増（11・5％）となった。このうち新設チームは22チーム。（◎印は新設）

▽**一般男子（18）**

◎明星ク（高橋英次）◎蜂山会（三井征二）◎三菱重工業水島自動車製造所東京工場（神山邦夫）◎桂友ク（鴨門義夫）◎府中ク（内藤正行）日体大ク（荒川清美）自衛隊第32普通科連隊（三谷賢治）千代田印刷機（古賀健一郎）芝浦ク（住広尚三）滴水会（中沢重夫）城南ク（岡本忍）早大学院ク（浅野道夫）若木ク（村田稔）大崎電気（生田太）安田生命（石川雅巳）全立大（勝繁夫）◎雪ケ谷ク（飯田茂）◎羽田ク（宮崎秀夫）

▽**一般女子（5）**

◎昭島ク（塩川安賢）三菱鉛筆（猪狩武春）レナウン工業（塩川安賢）東京重機（久津名勲治）大崎電気（生田太）

▽**教員（2）**

桑朋会（松本明正）東京桜友会（田中稔）

▽**大学男子（17）**

明大（堀道夫）日体大（荒川清美）早大（萩原一夫）◎明星大（小原格）日大（吉田清）国士館大（有賀国雄）慶大（増田一夫）東京理科大（早川道敏）芝浦工大（中沢重夫）法大（安藤純光）教大（山中建興）武蔵工大（難波俊夫）上智大（浮田剛）立大（勝繁夫）東大（藤本強）東京学芸大（矢野久英）中大（田中夫）

▽**大学女子（4）**

日体大（荒川清美）◎東京学芸大（加藤直子）東京女子体大（和泉貞男）日本女子体大（大杉淳子）

▽**高校男子（39）**

都北多摩（島田正士）都国立（稲垣雅彦）都農業（由良和雄）都神代（大塚文雄）関東（小松浩）都杉並工（首藤睦雄）都赤羽商（高田日呂美）都府中（久田暁）城西（池田寿雄）帝京商工（岡村六蔵）明星（高橋英次）中大付（川上整司）都玉川（岡村昭二）都鷺宮（杉浦章一郎）都一商（増井俊明）都府中工（山口久夫）都二商（小沢重夫）都墨田川（松本重雄）都三商（伊藤政貞）都四谷商（郷原義久）都広尾（南一好）都池袋商（奥田恒雄）都大島（三戸俊八）拓大付（鈴木亮一）東京実業（田中保弘）都明正（崎山朝儀）錦城（舛田熙）都江東商（中村正義）都城南（若林義孝）都京橋商（大石正己）都世田谷工（徳永陸繁）早大学院（萩原一次）都羽田工（津島良高）東亜商（片田清）都江東工（本間俊三郎）都五商（岡前義春）都江戸川（小泉功）都両国（永井勝雄）芝浦工大付（長田虎磨郎）

▽**高校女子（26）**

都墨田川（松本重雄）都四谷商（郷原義久）都神代（大塚文雄）都桜水商（坂理泰幸）都府中（久田睦）都小平（岡村千春）菊華（内倉正弘）都北多摩（島田正士）都園芸（小柴実）佼成学園（高嶋幸雄）二階堂（大杉淳子）都化工（渡辺和男）都志村（石塚政子）都二商（新村正雄）都赤羽商（高田日呂美）都両国（永井勝雄）都五商（岡前義春）都小岩（城津寛一郎）都白鷗（星野賢造）都玉川（大内一美）都井草（天野敏雄）都明正（崎山朝儀）白梅学園（杉山年子）都鷺宮（浦野知代美）都江東商（那須貞美）都広尾（南一好）

	40年	41年	増減	新設
一般男子	14	18	+4	(7)
一般女子	4	5	+1	(1)
教　員	2	2	0	(0)
大学男子	16	17	+1	(1)
大学女子	3	4	+1	(1)
高校男子	35	39	+4	(8)
高校女子	23	26	+3	(4)
計	97	111	+14	(22)

地方だより

岐阜西工、加納を破る

◇岐阜県高校春季選手権（4月29日・岐阜）

▼男子決勝リーグ

加納 6（4—0、2—5）5 岐山

岐阜西工 12（8—3、4—4）7 加納

岐阜西工 18（7—3、11—6）9 岐山

【順位】①岐阜西工②加納③岐山

▼女子決勝（2回戦制）

加納 5（3—1、2—1）2 高山

加納 4（2—0、2—0）0 高山

本田技研、圧倒的な強さ

◇三重県春季選手権（5月1日・亀山）＝男子のみ

▼準決勝

本田技研 42—3 鈴鹿高専

鵜の森ク 23—5 銀城ク

▼決勝

本田技研 31（15—6、16—9）15 鵜の森ク

高校は四月市工と津女子

◇三重県高校春季選手権（5月8日・亀山）

▽男子準決勝

四日市工 18—5 津

四日市商 19—16 津工

▽同決勝

四日市工 29—8 四日市商

▽女子準決勝

松阪女 17—7 白山

津女 13—9 上野商

▽同決勝

津女 7—6 松阪女子

× × ×

▼訂正 32号32頁（地方だより）愛知県女子リーグの記録中、中高大とあるのは中京女大の誤りにつき訂正します。

沼津東高A優勝

◇第1回沼津市総合ハンドボール大会（4月3日・沼津東高）

▼男子準決勝

沼津東高A 11（5—3、6—3）6 香陵ク

沼津ク 11（5—5、6—2）7 沼津東高B

▽決勝

沼津東高A 13（4—2、9—3）5 沼津ク

なおこの大会は、沼津市ハンドボール協会結成を記念して開かれたものです。すでに沼津市体育協会に加盟しています。

香椎高が優勝

◇福岡県 高校 選手権大会（5月7—8日（福岡市）

▼男子1回戦

久留米工 18—7 福岡工

嘉穂農 13—3 福岡電波

▽2回戦

若松 26—3 久留米工

博多工 22—12 田川商

宗像 19—10 門司

明善 18—3 田川農

筑紫中央 15—7 田川工

西南 8—6 小倉工

八幡工 25—4 南筑

香椎 27—5 嘉穂農

▽準々決勝

博多工 11—10 若松

明善 11—9 宗像

筑紫中央 23—10 西南

香椎 22—8 八幡工

▽準決勝

明善 17—11 博多工

香椎 18—14 筑紫中央

▽3位決定戦

筑紫中央 25（10—12、15—5）17 博多工

▽決勝

香椎 18（7—4、11—9）13 明善

▼女子1回戦

明善 10—7 筑紫中央

筑紫女院 11—7 信愛女院

▽3位決定戦

筑紫中央 11（7—2、4—2）4 信愛女院

▽決勝

明善 14（8—1、6—2）3 筑紫女院

スワロー兵庫勝つ

◇兵庫県春季一般ハンドボール大会（4月17日・24日、滝川高校）

▼1回戦

富士レジン 38—14 兵庫エク

尼崎エク 29—7 神戸製鋼

スワロー兵庫 31—20 兵庫ク

神戸大 23—15 川崎車輌

▽準決勝

富士レジン 29（14—7、15—11）18 尼崎エク

スワロー兵庫 30（16—9、14—9）18 神戸大

▽決勝

スワロー兵庫 23（14—4、9—13）17 富士レジン

大分教員初優勝

女子は大分府内が善戦

◇第2回九州選手権大会（5月21日—22日・大分県立鶴崎高校）

▼一般男子1回戦

大竜会 不戦勝 長崎ク

大分教員 22—17 熊本ク

△準決勝

熊本教員 26—17 大竜会

大分教員 20—18 福岡教員

▽決勝

大分教員 23（12—7、11—14）21 熊本教員

大分教員は初優勝

▼一般女子決勝

大洋デパート 13（4—5、9—1）6 大分府内ライオンズ・ク

大洋デパートの2連勝

橘クラブ優勝

◇第20回静岡県スポーツ祭(5月21、22日・清水東高)

▼一般男子1回戦

静岡教員 16—9 日野自動車
清商7 21—3 富士ク
橘ク 31—12 静岡大

▽準々決勝

清商ク 19—3 静農ク
清見潟ク 12—7 沼津ク
橘ク 24—6 二俣ク
富士川体協 12—7 静岡教員

▽準決勝

橘ク 13—11 清商ク
清見潟ク 16—9 富士川体協

▽決勝

橘ク 12(6—4、6—6)10 清見潟ク

▼一般女子準決勝

清水女高ク 8—2 SHF
城北ク 12—5 清商ク

▽3位決定戦

SHF 9—6 清商ク

▽決勝

城北ク 14(7—5、7—1)6 清水女高ク

▼高校男子1回戦

富士 16—9 二俣
清水東 20—12 御殿場
天竜林業 21—18 三島南
清水商 28—6 吉原
静岡東 10—7 浜松南
沼津工 21—2 静清工
沼津東 15—12 静岡農

▽2回戦

気賀 10—4 静岡東
沼津東 15—10 沼津工
富士 20—17 清水東
清水商 22—8 天竜林業
(あとは雨のため中止)

▼高校女子1回戦

御殿場 9—8 清水女子
清水西 6—4 浜松南
静岡女子 不戦勝 掛川東
富士宮東 10—6 藤枝西
沼津女商 13—3 二俣

▽2回戦

吉原 20—3 御殿場
清水商 6—3 清水西
富士宮東 12—5 静岡女子
城北 15—8 沼津女商
(あとは雨のため中止)

協会変更

▽千葉県 協会連絡先変更=千葉県佐原市佐原女子高校内。また新理事長に角田節氏が決定。

▽愛知県 協会連絡先変更=愛知県知多郡横須賀町高横須賀広脇県立横須賀高校内

徳永氏けが

日本協会常務理事の徳永陸繁氏(都立世田谷工業高校教諭)は4月28日世田谷工業高校で練習中、左足アキレスけんを切り、関東中央病院に入院した。

【実業団連盟だより】

昭和41年6月10日
全日実第8号
全日本実業団ハンドボール連盟
会長 古賀和佐雄

◎日本総合選手権大会に出場する実業団推薦チームの件

前略 本格的なハンドボールシーズンとなりました。みなさん、いかがおすごしですか。第18回全日本総合ハンドボール選手権大会は8月21日から25日まで埼玉県浦和市立高校グラウンドで開かれます。

日本ハンドボール協会は6月1日に大崎電気(埼玉)芝浦工大(東京)全立大(東京)同志社大(京都)大阪イーグルスの5チームを日本協会推薦チームに決めました。当実業団連盟は日本協会の要請に基づき、実業団連盟推薦チーム(4チーム)を次のように決め、各チームとも出場を承諾されました。

▽推薦チーム
1、千代田印刷機(東京)
2、宗形製作所(大阪)
3、住友化学菊本(愛媛)
4、本田技研(三重)

▽推薦理由
これはことし2月の全日本実業団選手権大会(大阪)のベスト4(大崎電気、千代田印刷機、宗形製作所、住友化学菊本)を推薦しましたが、このうち大崎電気は日本協会推薦となりました。このため大崎電気の代わりに、全日本実業団選手権大会の準々決勝で敗れた4チーム(三菱レイヨン大竹、本田技研、日本鋼管、三菱重工)の中から選ぶことにしました。この4チームの大会成績(得点、失点の差)とその他について慎重に検討した結果、1三菱レイヨン大竹、2本田技研、3日本鋼管、4三菱重工に順位をつけ、まず三菱レイヨンを推薦しました。三菱レイヨンは諸般の事情で辞退するむね連絡があり、このため本田技研を推薦しました。本田技研は7日に推薦を受諾されたので、以上の4チームに決定したものです。

なお女子チームはフリー参加なので推薦制度、予選制度はありません。(了)

ノンちゃん結婚す

ノンちゃんの愛称で親しまれていた愛知紡の名マネジャーだった則武のぶ子さん(平田高出)は、久田次郎氏夫妻の媒酌で5月21日小林勉氏と結婚式をあげ、第二の人生へスタートした。当分の間、愛知紡の秘書課に勤務。新居は愛知県知多郡美浜町大字布土字上村一三—二 林昌良方。

× × ×

編集後記

○…高嶋理事長から「本誌は高校生がかなり読んでいる。高校生のために本誌を開放したい」との要望があった。そこで理事長と協議した結果「学園だより」を新設した。これはハンドボール人口の拡大、つまり底辺拡大にたいせつなことなので、全国の高校に原稿、写真を依頼した。ところが各校ともすぐ折り返し原稿を郵送してきた。最初は果たして締め切り期日までに到着するかどうか気がかりだったが、その心配はいっぺんに解消。古人はうまいことを言った。「案ずるより生むがやすし」すでに8月号(35号)の原稿が殺到している。

○…8月号には中学生を対象にして原稿を集めてみる予定。すでに中体連の山岡二郎先生にお願いした。中学時代にプレーした人たちのクラブチームを紹介したいと思う。さて、どんなものが生れるや。お楽しみ!

○…先日、東京都立五商の岡前先生いわく「マガジン32号に大洋デパートの西村八千代君の記事が出ていた。うちの女子チームは、これをむさぼるようにして読んで感心していた。パトロールのような軽いニュースはいいね」。(ふぐ)

チヨダは印刷機材の合理化を推進する総合メーカーです。

営業三課／栗田満夫

パーフェクトは夢の印刷機（全自動）です。
超薄紙から厚紙まで、忙しい人手の足りない工場に大好評。

営業一課／庄司政雄

パーフェクトはたくさんの賞賛の言葉をいただきました。
よい製品をつくる励みになります。

営業三課／打林行夫

本社新社屋

新製品 **パーフェクト** 全自動B四截凸版印刷機

8

千代田印刷機製造株式会社
千代田印刷材料製造株式会社

本　社	東京都千代田区神田猿楽町１－４	ＴＥＬ　東京(292) 2011（代）～8
横浜支社	横浜市西区高島通り１－７	ＴＥＬ神奈川(045) 44－6572・7358・7028
福岡支社	福岡市御供所町３番16号（聖福寺前）	ＴＥＬ　福岡（28）3960・0153
立川工場	東京都昭島市東町１丁目１番地５号	ＴＥＬ 立川(0425) 2－2470・4383
九州工場	佐賀県小城郡牛津町（牛津駅前）	ＴＥＬ　牛津　７２

横浜支社

日本ハンドボール協会編
ハンドボール
第三十四号
昭和四十年六月
第三種郵便物認
昭和四十一年六月二十五日印刷
昭和四十一年七月一日発行
発行所　日本ハンドボール協会
都渋谷区神南町二五
大代表(467)三一一一
東京五八三四八番
編集兼発行人　高嶋冽
定価百五十円